

令和3年度

事業報告

社会福祉法人祥風会

理事長 羽鳥 圭一

<目次>

白色

サポートセンター P 1 ~ 8

青色

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業
P 9 ~ 1 0

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P 1 1 ~ 2 3
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P 2 4 ~ 2 8
飛羽ノ園デイサービスセンター P 2 9 ~ 3 5
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P 3 6 ~ 3 8
土浦市在宅介護支援センター P 3 9 ~ 4 0

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里 P 4 1 ~ 5 7
デイサービス憩いの里 P 5 8 ~ 6 3
支援センター憩いの里 P 6 4 ~ 6 5
土浦市在宅介護支援センター P 6 6 ~ 6 7

黄色

桜川保育園 P 6 8 ~ 7 5

令和3年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一
センター長 村山 直希

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3520
FAX 029-896-3522
URL <https://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

①施設関連

例年開催される施設行事については、飛羽ノ園・憩いの里では新型コロナウイルス感染症対策のために来賓や家族などを招かずに施設内で完結するように実施することでコロナ禍でも季節感を感じてもらうことができた。面会においては感染状況等によりWEB、窓越しなどの間接的な面会を実施し、施設内感染予防対策を行った。

桜川保育園では感染症予防に配慮しながら家族の参加を最小限にし、遠足・夕涼み会・運動会・ハロウィン・クリスマス会・ならせ餅・生活発表会を実施。

【飛羽ノ園】

・飛羽ノ園では従来型のトイレの老朽化に伴い改修予定計画を立てていたが、令和3年度の実施ができなかった。次年度以降に実施していく方向で関連業者と打合せを行っており、見積金額によっては入札を予定している。

【憩いの里】

・屋根に関して令和3年度中に改修予定であったが、優先順位や資金面、施工方法を検討した結果、次年度以降に実施予定とした。

【桜川保育園】

・定員90名利用となり、各種物品等の整備や園児の保育生活面での配慮や保育者の心身のストレス等に配慮した運営を行った。

【ながみね】受託終了に伴う引継ぎ、維持管理費の精算をはじめ、残務処理を終了し、全ての業務を終えた。所属職員は面談を行い、他事業所で雇用継続ができるよう最大限の配慮をした。

【茨城県の指導監査による指摘事項】

・特別養護老人ホーム飛羽ノ園

令和3年10月24日一般検査（書面検査）

「おおむね良好に運営がなされていると認められました。」

・桜川保育園

令和4年1月21日一般検査（書面検査）

「令和2年度の年2回の防火設備、消防設備点検未実施」と指摘あり。

防火・消防設備点検業者と契約し令和4年1月中に点検実施、令和4年度以降は年2回の点検実施。

2. 重点目標に対する成果

①法人理念の見直しと浸透

令和2年度の祥風会スキルアップ研修（全3回）参加職員の意見を反映して法人理念を見直した。これにより、当法人が、「保育と介護の提供を通じて世代間交流を叶え、住み慣れた地域で安心・安全に過ごすことができるように」という目的をもって存在していることがより明確になった。

また、法人理念を携帯可能なカードとして全職員に配布し、各職員が常に法人理念を確認でき、各自に与えられた業務が法人理念に基づいていることを意識できるようにした。

②感染症・災害への対応強化

介護事業所においても、2024年までに業務継続計画（BCP）の策定が義務づけられたこともあり、本格的にBCPの研修を受け、各事業形態に即した基礎BCPを整備した。本格的に義務化される2024年には、更に具体的で誰が見ても分かりやすく、行動に移しやすいBCPを整備し、感染症や災害への対応力を高めたい。

③入居待機者の確保に向けた取り組み

病院や他事業所、居宅介護支援事務所等との連携強化と稼働率の重要性を理解するための意識付けの手始めとして、事業計画と事業報告の意味と活用に関する勉強会、及び、これまで一部の職員しか関わることがなかった予算書についての勉強会を行った。これらの基礎的理解を土台として、次に稼働率の重要性とそのための方策の一つとして連携強化があることを理解するための勉強会へ繋げたいと考える。

また、魅力ある施設運営を意識する為の取組としては、利用者や家族の満足度を上げる以前の当たり前が出来ていなければならない高齢者権利擁護を根付かせるための勉強会、事故とヒヤリハットの捉え方を施設で統一するための勉強会を行った。これらは日常業務において意識し、共通認識をもっていなければならない事であるため、次年度以降も勉強会等を通じて再確認、再認識を促すようにしたい。

④中間管理職層の基準の明確化と育成強化

法人が求めるリーダーの役割を10の項目にまとめ、現リーダーに求められていること、これからのリーダーに求めていることを明確にした。また、先のカード化した法人理念の裏面に収め、祥風会の「リーダーとは」を意識できるようにした。

⑤採用活動の強化

一人でも多くの求職者が当法人を選ぶきっかけになることを目的として、魅力ある施設運営を考え、その情報発信を行った。情報発信方法については、リニューアルしたホームページとSNSを積極的に活用し、特にSNSについては小まめに情報発信を行った。

また、求人媒体については信頼性やコストパフォーマンスなどを検討し直して利用する媒体の整理を行った。そして、経験や資格の有無に関わらず「やる気」を重視した面接を行い17名の採用となった。

⑥働き方改革関連法や福利厚生整備

当法人では既に65歳までの継続雇用制度と70歳までの特別再雇用制度を導入し、高年齢者雇用安定法で求められる環境となっている。定年を迎えても経験や能力を活かして元気に働ける職員も多く、そのような職員については積極的に雇用継続をして頂いた。また、新規採用においても年齢で判断せずに実際の面接を通して判断し、アクティブシニア層を積極的に採用できるように心がけた。

福利厚生においては、休暇制度の増設や充実を検討していたが、新型コロナウイルス感染症関連での休みに関する優遇措置等での対応がメインとなったため、検討することができなかった。

無資格者に対する資格取得支援制度については、支給要件や支給内容などを引き続き検討し、今年度の整備は見送った。

【総括】

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の第5波、第6波という大きな波に翻弄され、コロナウイルス発生前のような穏やかな日常での施設運営とは程遠いものであった。ワクチンの接種率が上がり、各々が基本的な感染対策を行うことで感染を予防できるという意識が広まったせいやデイサービスやショートステイの利用控えは解消されてきたが、一方で学校等での感染が広がり、子育て世代の職員が濃厚接触者となるケースが増えた。そのような中、施設入居者において初めての陽性者が出ることとなったが、早急な隔離対応と濃厚接触と思われる入居者及び職員への検査、更に担当職員を選別して一時的に専任とするなどの対応をすることにより、感染者を4人に留め且つ短期間で乗り越えることができた。

コロナ罹患者を実際に担当することとなった職員が新たにコロナウイルス感染することなく終息することができたことで、マスクの着用やうがい手洗い、防護服の着用など基本的な感染予防方法の効果が大きく大切であるという証明となり、法人内でのコロナ対策の一つの基準となったことも大きな意味のある事となった。

【各種規程の作成、変更】

〔令和3年5月〕

＜非常勤職員等就業規則変更＞

- 第5条 採用申込者の提出書類：(5) 身元保証書⇒(5) 緊急連絡先に変更
- 第31条 賃金：「住宅手当」「扶養手当」を追加
(住宅手当、扶養手当については、正職員に対する勤務割合(常勤換算数)を乗じた金額を支給する。)
- 第25条：介護職員処遇改善加算一時金の追加
- 第26条：介護職員等特定処遇改善加算一時金の追加

〔令和4年3月〕

＜非常勤職員等就業規則＞

- 第9条 正職員転換試験：正職員転換制度に関する勤続年数削除

＜職員給与規程変更＞

- 第23条 住宅手当：10kmを20kmに変更
- 第17条 扶養手当：税法上を社会保険上に変更
- 第28条：処遇改善支援補助金の追加

＜職員就業規則変更＞

- 第3条 職員の定義及び適用範囲：「管理者」の削除、「次長」の追加

- 第40条 特別休暇

⇒「ただし、原則として公休を含む連続する日数とする。」を追加

⇒(1) 本人の結婚5日以内に「婚姻日もしくは結婚式を起算日とする6ヶ月以内」を追加

⇒(2) 子の結婚1日以内に「婚姻日もしくは結婚式を起算日とする6ヶ月以内」を追加

⇒ (3) 妻の出産 2 日以内に「出産日もしくは出産予定日を起算日とする」を追加

⇒ (4) 忌引きに「死亡日もしくは通夜（告別式）を起算日とする」を追加

○第 81 条 正職員転換制度：勤続年数の削除

<育児及び介護休業規程>

○第 2 条 育児休業の対象者：有期雇用労働者の取得要件の緩和

○第 6 条 介護休業の対象者：有期雇用労働者の取得要件の緩和

○第 23 条 円滑な取得及び職場復帰支援：職員に対して育児休業に係る研修を実施する旨を追加

<経理規程>

○第 6 条 事業区分、拠点区分及びサービス区分

「法人本部」を「サポートセンター」に修正、「介護職員初任者研修事業」を「社会福祉を目的とする事業に関する者の養成及び研修事業」に修正、「土浦市ふれあいセンターながみね」「飛羽ノ園デイサービスながみね」の削除、「桜川保育園」の追加、別紙 1 の追加

2. 事業内容

*祥風会設立認可・・・平成元年 6 月 26 日

*創立登記・・・平成元年 6 月 27 日

*理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成 21 年 8 月 10 日

*土浦市小松 1-3-33 ハトリビル 6 階(平成 24 年 12 月に移転)

*介護職員初任者研修事業開始年月日(平成 26 年 4 月 1 日)平成 26 年 2 月 14 日指定(指定番号 45)

*実務者研修事業開始年月日(平成 30 年 6 月 1 日)

事業所名		所在地	事業開始年月日	指定日・認可日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県土浦市 小松 3-18-18	平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・と わ		平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成 3 年 5 月 31 日	平成 12 年 3 月 10 日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成 6 年 8 月 17 日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成 11 年 11 月 30 日	平成 11 年 11 月 30 日	0870300175
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県土浦市 高岡 2315	平成 17 年 9 月 25 日 平成 26 年 4 月 1 日 (増床 20 床)	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900740
	土浦市在宅介護支援センター		平成 19 年 4 月 1 日		
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成 17 年 9 月 25 日	平成 17 年 9 月 25 日	0873900757
桜川保育園	桜川保育園	茨城県土浦市 田中 3-4-5	令和 2 年 4 月 1 日	令和 2 年 3 月 31 日	0820306100018

3. 理事会・評議員会開催状況

第1回理事会 令和3年5月27日(木) 書面表決 同意者:理事6名 監事2名	
第1号議案 令和2年度 事業報告及び決算の承認の件	
第2号議案 第三者委員規程の制定の件	
第3号議案 評議員選任・解任委員の選任の件	
第4号議案 第三者委員の選任の件	
第5号議案 給与規程、非常勤職員等就業規則の変更の件	
第6号議案 評議員会への提案の件	
第7号議案 評議員選任・解任委員会への提案の件	
第2回理事会 令和3年6月11日(金) 書面表決 同意者:理事6名 監事2名	
第1号議案 理事長の選任の件	
第3回理事会 令和4年3月23日(水) 書面評決 同意者:理事6名 監事2名	
第1号議案 令和4年度 事業計画(案)及び当初予算(案)の承認の件	
第2号議案 各種規則・規程の変更の件	
第3号議案 介護福祉士実務者研修 授業概要変更の件	
第4号議案 評議員会への提案の件	
報告事項 理事長の職務執行状況報告	
理事(6名)	
羽鳥 圭一(理事長)	羽鳥 栄子
増山 栄	今高 國夫(産業医・嘱託医)
和田 宏一(特別養護老人ホーム憩いの里 施設長)	河田 輝子(研修室室長)

第1回評議員会(定時評議員会) 令和3年6月11日(金) 書面表決 同意者:評議員8名	
第1号議案 令和2年度決算承認(計算書類・財産目録の承認)の件	
第2号議案 理事・監事の選任の件	
第2回評議員会 令和4年3月30日(木) 書面表決 同意者:評議員8名	
第1号議案 令和4年度 事業計画(案)及び当初予算(案)の承認の件	
第2号議案 各種規則・規程の変更の件	
第3号議案 介護福祉士実務者研修 授業概要変更の件	
評議員(8名)	
高橋 敏夫	君山 毅
宮崎 三弘(嘱託医)	島田 源
高野 久	竹若 栄吾郎(弁護士)
物江 学(社会保険労務士)	中根 祐一

4. 監事監査の実施状況

令和3年5月14日(金) サポートセンターにて 10:00～	
理事の業務執行状況……適正である	
法人の財産管理状況……適正である	
法人・施設の業務執行状況……適正である	
法人・施設の会計状況……適正である	
監事(2名)	
仲田 秀治	山本 義弘

5. 職員状況

<在籍者数(名)>令和4年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員	パート職員	合計
サポートセンター	4	1	1	6
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	25	1	12	38
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	8	0	4	12
飛羽ノ園デイサービスセンター	8	0	3	11
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	5	0	0	5
特別養護老人ホーム憩いの里	42	3	9	54
デイサービス憩いの里	8	1	3	12
支援センター憩いの里	1	0	0	1
桜川保育園	17	4	12	33
合計	118	10	44	172

<入職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	1	0	1	2	4	0	1	1	0	0	0	0	10
憩いの里	1	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	8
桜川保育園	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	2	5	2	4	0	1	2	0	0	0	1	22

<退職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	0	1	0	2	1	1	0	0	3	1	2	2	13
憩いの里	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4
桜川保育園	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	3	1	1	0	1	4	1	2	5	20

<離職率一覧>

施設名	令和2年度	令和3年度	前年度比
飛羽ノ園	16.9%	20.0%	+3.1%
憩いの里	22.7%	6.2%	△16.5%
桜川保育園	0%	8.8%	+8.8%
サポートセンター	20.0%	0.0%	△20.0%

※離職率(%)=当期間内の退職者数÷当期首の在籍者数×100

<面接回数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	7	3	5	3	2	4	3	3	0	4	2	3	39

<採用詳細>

No	勤務地	職種	雇用形態	所持資格	経験	媒体
1	憩いの里	作業療法士	パート	作業療法士	5年6ヶ月	直接(元職員)
2	憩いの里	介護職員	正職員	介護福祉士	26年9ヶ月	ジョブメドレー
3	憩いの里	介護職員	正職員	介護福祉士	9年11ヶ月	直接(元職員)
4	憩いの里	介護職員	パート	ヘルパー2級	6年6ヶ月	直接(元職員)
5	飛羽ノ園	介護職員	パート	訪問介護員2級	5年8ヶ月	直接(元職員)
6	飛羽ノ園	看護職員	パート	准看護師	16年9ヶ月	直接
7	飛羽ノ園	介助員	パート	なし	0年0ヶ月	職員紹介
8	飛羽ノ園	介護職員	パート	初任者研修修了	0年0ヶ月	初任者研修受講生
9	飛羽ノ園	看護職員	正職員	正看護師	17年3ヶ月	紹介
10	飛羽ノ園	介護職員	正職員	介護福祉士	5年3ヶ月	直接(元職員)
11	飛羽ノ園	介護職員	正職員	介護福祉士	11年7ヶ月	直接
12	飛羽ノ園	介護職員	正職員	介護福祉士	25年6ヶ月	コメディカル
13	憩いの里	介助員	パート	なし	0年0ヶ月	ハローワーク
14	桜川保育園	保育士	正職員	保育士(見込)	0年0ヶ月	直接(実習生)
15	憩いの里	介護職員	正職員	介護福祉士	6年2ヶ月	コメディカル
16	憩いの里	介護支援専門員	正職員	介護支援専門員	2年7ヶ月	Airwork
17	桜川保育園	保育補助員	パート	なし	0年0ヶ月	紹介
18	飛羽ノ園	介護職員	パート	介護福祉士	8年3ヶ月	直接

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修

日時	研修名・対象者	担当	参加者 (名)
4.21(水)10:00~12:00	新入職員研修(新人・中途採用者)	3拠点管理者、相談員、栄養士、看護師	9
5.6(木)15:45~19:15	人事考課研修(憩いの里)	沼尻次長	48
5.10(木)19:00~19:30	人事考課研修(飛羽ノ園)	沼尻次長	29
7.9(金)19:05~19:40	事故とヒヤリと報告書①(飛羽ノ園)	沼尻次長	35
7.21(金)11:00~12:00	ニコニコ献立(管理栄養士・栄養士)	河田室長	3
9.10(金)18:50~19:30	事故とヒヤリと報告書②(飛羽ノ園)	沼尻次長	30
9.13(月)18:30~19:00	高齢者権利擁護って何②(憩いの里)	河田室長	38
10.8(金)19:00~20:00	高齢者権利擁護って何(飛羽ノ園)	河田室長	40
11.10(水)19:00~19:30	会計書類の見方(飛羽ノ園)	七五三	14
12.10(金)19:00~20:00	会計書類の見方と事業計画書(飛羽ノ園)	沼尻次長	28
12.15(水)14:00~14:30	会計書類の見方(憩いの里)	沼尻次長	10
1.4(火)18:30~19:00	事業計画書について(憩いの里)	沼尻次長	41
合計			325

②外部研修 ※サポートセンターでの研修はすべてリモート

年月日	研修名	研修場所	参加者 (名)
5.12(水)11:00～12:00	介護施設における労働時間管理の必要性とは？	サポートセンター	1
5.18(火)14:00～15:00	職員の育成を後押しする評価・面談制度	サポートセンター	1
6.17(木)16:00～16:30	IT 導入補助金 2021 解説セミナー	サポートセンター	1
7.20(火)14:00～14:50	介護業界の DX、テクノロジーを活用した介護施設経営	サポートセンター	1
8.26(木)14:00～15:00	人材育成に必要なこと	サポートセンター	1
9.9(木)14:00～15:00	受けっぱなしの研修にしないヒント	サポートセンター	1
9.15(水)15:00～16:00	世代間ギャップを埋めるコミュニケーション	サポートセンター	1
9.16(木)14:00～15:30	最低賃金の改定と業務改善助成金	サポートセンター	3
9.27(月)14:00～16:00	LGBTQ+多様性ある社会の実現にむけて	サポートセンター	3
9.28(火)14:00～15:00	1on1 がうまくいく上司、上手くいかない上司	サポートセンター	1
9.29(水)14:00～15:00	自ら考え楽しく学ぶ研修	サポートセンター	1
10.12(火)14:00～15:00	個と組織が成長する人材育成の重要ポイント	サポートセンター	1
10.15(金)10:00～11:00	人事評価制度の作り方	サポートセンター	1
10.19(火)15:00～16:00	最低賃金引上げと業務改善助成金改定最新情報	サポートセンター	3
11.16(火)10:30～11:30	"2040 年の介護の未来" と "2024 年に目指す姿"	サポートセンター	1
12.10(金)14:00～15:30	同一労働同一賃金とキャリアアップ助成金	サポートセンター	2
12.16(木)14:00～15:30	時間外労働労務管理	サポートセンター	2
12.22(水)13:00～13:45	電子帳簿保存法改正セミナー	サポートセンター	1
12.23(木)14:00～15:00	いま知っておきたい電子帳簿保存法の勘所！	サポートセンター	2
1.26(水)14:00～15:30	高齢者雇用安定法改正と 65 歳超雇用推進助成金	サポートセンター	3
1.27(木)13:30～16:00	県経営者協議会	サポートセンター	1
2.2(水)14:00～16:00	介護事業者のための業務 継続計画 (BCP) 作成セミナー	サポートセンター	1
2.9(水)14:00～15:30	育児・介護休業と両立支援等助成金	サポートセンター	3
2.24(木)13:00～15:30	障害者雇用納付金制度説明会	ワークヒル土浦	1
2.24(木)13:30～15:00	Z 世代の仕事思考 変化する価値観に合わせ人事は何をすべきか	サポートセンター	1
合計			38

令和3年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一
室長 河田 輝子

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
TEL 029-896-3521
FAX 029-896-3522
URL <https://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

コロナ禍にも関わらず、令和3年度は介護職員初任者研修51名、介護福祉士実務者研修29名と多くの方が研修に参加された。

感染拡大防止につとめ、講師・受講生共に日頃からの健康管理とコロナ禍での過ごし方に気を付けて頂くようお願いをし、感染者を出すことなく無事に開講してきたが、蔓延防止等重点措置が発令されたこともあり、介護職員初任者研修で初めて一時休校(約3週間)をすることとなり、受講生は休みの調整など大変苦勞されたことと思う。

介護福祉士実務者研修に関しては、受講生の多くが介護福祉士試験に挑戦し、受験生23名中21名が合格することができた。惜しくも合格することが出来なかった修了生や経験年数の不足により受験資格が無い、今後、挑戦する修了生も引き続きフォローしていきたい。

2. 内容

(1) 介護職員初任者研修

① 実施期間

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第1回	4月8日～7月27日	20	19
第2回	9月2日～12月16日	17	16
第3回	11月5日～2月25日	17	16
合計		54	51

※法人内受講生4名含む

② 施設実習・見学会(コロナ禍のため中止)

施設名	実習:第1回(名)	実習:第2回(名)	実習:第3回(名)	見学会(名)
飛羽ノ園	0	0	0	0
憩いの里	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

③ 年代別受講者数(名)

世代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		開催毎 の計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
第1回	1	0	3	4	1	2	0	5	0	1	1	1	19
第2回	1	0	1	1	0	4	2	3	1	3	0	0	16
第3回	0	0	0	6	0	1	1	4	0	3	0	1	16
男女別計	2	0	4	11	1	7	3	12	1	7	1	2	51
合計	2		15		8		15		8		3		

(2) 実務者研修

① 実施期間

	期間	受講者数 (名)	修了者数 (名)
第1回	6月9日～12月8日	29	29
合計		29	29

② 年代別受講者数 (名)

世代	20代		30代		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	4	2	1	5	1	6	0	8	1	1
合計	6		6		7		8		2	

令和3年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一
施設長 椎名 早苗

〒300-0823 土浦市小松3-18-18
TEL 029-826-2941
FAX 029-826-2946
URL <https://showfukai.com>
E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設（とわ）

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護福祉施設

今年度の運営方針の一つ、「権利擁護の視点に立ち個々の能力、ニーズに合わせたサービス計画の作成と支援」では、職員を研修派遣し権利擁護の視点の再取得をした。現場主体で課題を抽出し、勉強会を開催して課題解決に努めた。また、個々の能力やニーズに合わせたサービス計画を作成し、支援を行うためにカンファレンスの内容充実を図り、多くの情報を集めることが出来た。しかし、チーム全体での権利擁護の視点、支援方法での統一に難しさを感じた。次年度へ向けての課題と考えている。

二つ目として、「個性を捉え、生活の場としてのケアを行う為、入居者・家族・地域の結びつきを第一に考えた介護を実践する」では、新型コロナウイルス感染症予防として面会や行事等が全面中止となった中、少しでも生活の中での楽しみを持つことが出来るよう施設内行事の開催を充実させ、その様子を見る事が出来るようホームページ等を定期的に更新した。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

入院や病状悪化に伴いADLが低下し、家族の身体的・精神的疲労もありショートステイ長期利用のニーズが増加傾向にあった。独居で生活されていた方も同様の傾向にあった。

緊急利用や虐待ケースを利用へつなぎ、居宅介護支援事業所や包括支援センター、病院などと連携することが出来た。次年度も地域のニーズに、柔軟・迅速に対応する力が必要である。

3. 稼働率報告

種 別	従来		ユニット		ショートステイ	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
年間ベッド数（最大）	18,250	18,250	7,300	7,300	3,650	3,650
利用延べ人数	18,221	18,217	7,150	7,265	3,311	3,002
稼働率（%）	99.8	99.8	97.9	99.5	90.7	82.2

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1. 利用者推移・実数

（1）入退居者数

月	入所		退所	
	従来	ユニット	従来	ユニット
4	3	1	2	2
5	0	1	0	0
6	4	1	4	1
7	3	0	3	0
8	1	0	1	0
9	3	0	4	0
10	3	0	2	0
11	1	0	1	0
12	2	0	2	0
1	2	1	2	1
2	1	0	1	0
3	0	1	0	1
合計数	23	5	22	5
前年度合計数	14	10	14	10

（2）入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	20	3	永眠	13	4
病院	2	0	病院	7	0
老健	0	0	老健	0	0
有料老人ホーム	0	0	居宅	0	0
特養	0	1	特養	0	1
計	22	4	計	20	5
前年度計	14	10	前年度計	14	10

（3）要介護度別 ※令和4年3月31日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	2	0	1	0	3	0	3	0
2	2	0	2	5	4	5	6	3
3	9	2	8	7	17	9	12	6
4	4	0	17	5	21	5	22	6
5	0	0	5	1	5	1	7	5
合計	17	2	33	18	50	20	50	20
平均 要介護度	2.9	3.0	3.7	3.1	3.4	3.1	3.5	3.7

(4) 年齢構成 ※令和4年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	0	1	1	2	0	10	3	17
	女性	0	0	1	2	9	10	11	33
とわ	男性	0	1	0	1	0	0	0	2
	女性	0	0	1	1	1	5	10	18
合計		0	2	3	6	10	25	24	70
前年度		0	0	3	6	12	20	29	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	3	6	13	23	7	52
	延人数	90	168	390	663	181	1,492
5	実人数	3	5	11	24	7	50
	延人数	93	155	341	744	217	1,550
6	実人数	3	6	11	26	8	54
	延人数	90	154	326	707	223	1,500
7	実人数	3	5	10	28	7	53
	延人数	93	143	284	838	192	1,550
8	実人数	3	4	12	27	5	51
	延人数	93	124	354	822	155	1,548
9	実人数	3	4	12	27	7	53
	延人数	90	106	350	775	177	1,498
10	実人数	3	4	14	25	6	52
	延人数	93	110	405	742	186	1,536
11	実人数	3	4	15	23	6	51
	延人数	90	120	420	690	180	1,500
12	実人数	4	4	15	21	8	52
	延人数	124	110	445	633	231	1,543
1	実人数	4	3	16	22	7	52
	延人数	124	93	483	651	199	1,550
2	実人数	3	4	17	21	6	51
	延人数	84	112	449	588	167	1,400
3	実人数	3	4	17	21	5	50
	延人数	93	124	527	651	155	1,550
令和3年度	実人数	38	53	163	288	79	621
	延人数	1,157	1,519	4,774	8,504	2,263	18,217
令和2年度	実人数	31	64	207	214	106	622
	延人数	937	1804	6,033	6,316	3,131	18,221

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合 計
4	実人数	0	3	7	5	6	21
	延人数	0	90	210	150	147	597
5	実人数	0	3	8	5	4	20
	延人数	0	93	223	155	124	595
6	実人数	0	3	9	5	4	21
	延人数	0	90	257	150	101	598
7	実人数	0	3	9	5	3	20
	延人数	0	93	279	155	93	620
8	実人数	0	3	9	5	3	20
	延人数	0	93	279	155	93	620
9	実人数	0	3	8	6	3	20
	延人数	0	90	240	180	90	600
10	実人数	0	3	8	6	3	20
	延人数	0	93	248	186	93	620
11	実人数	0	4	8	5	3	20
	延人数	0	120	240	150	90	600
12	実人数	0	4	8	5	3	20
	延人数	0	124	248	155	93	620
1	実人数	0	5	8	5	2	20
	延人数	0	148	248	155	69	620
2	実人数	0	5	8	5	2	20
	延人数	0	136	224	140	56	556
3	実人数	0	5	9	5	2	21
	延人数	0	153	278	155	33	619
令和3年度	実人数	0	44	99	62	38	243
	延人数	0	1,323	2,974	1,886	1,082	7,265
令和2年度	実人数	0	21	90	90	50	251
	延人数	0	522	2,384	2,573	1,471	6,950

《考察》

今年度は、28名の方の入退所があった。入所希望のある長期のショートステイ入居者の緊急性と、新規入居者の実態調査結果とで次期入居者を決定し、多職種連携しスムーズなベッドコントロールに務めた。

入院された入居者の再受け入れに関して、入院先医療施設と情報共有し、退院後も安心して利用出来るよう、連絡・相談を継続した。一時的にショートステイでの利用であったが、入所まで導くことが出来たケースもあった。

(6) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
4	実人数	0	0	2	4	2	8	2	18
	延人数	0	0	13	51	42	128	48	282
5	実人数	0	0	1	5	3	6	1	16
	延人数	0	0	21	72	54	139	31	317
6	実人数	0	0	1	5	3	5	1	15
	延人数	0	0	22	77	53	71	30	253
7	実人数	0	0	1	3	5	3	2	14
	延人数	0	0	2	61	50	67	49	229
8	実人数	0	0	1	3	4	2	2	12
	延人数	0	0	4	22	74	62	62	224
9	実人数	0	0	4	3	6	3	3	19
	延人数	0	0	27	34	69	62	54	246
10	実人数	0	0	3	3	6	3	3	18
	延人数	0	0	28	18	116	34	50	246
11	実人数	0	0	3	6	5	2	3	19
	延人数	0	0	23	42	66	32	65	228
12	実人数	0	0	2	4	8	2	2	18
	延人数	0	0	18	60	99	33	26	236
1	実人数	0	0	3	3	7	2	0	15
	延人数	0	0	28	25	138	33	0	224
2	実人数	0	0	3	2	6	1	0	12
	延人数	0	0	42	49	132	28	0	251
3	実人数	0	0	3	3	2	7	0	15
	延人数	0	0	44	18	154	50	0	266
令和3年度	実人数	0	0	27	44	57	44	19	191
	延人数	0	0	272	529	1,047	739	415	3,002
令和2年度	実人数	0	5	28	58	42	46	6	185
	延人数	0	28	360	913	892	993	125	3,311

《考察》

長期でのショートステイの申し込みが半数以上で、前年度同様に多く見られた。居宅介護支援事業所と連携を図り情報収集し長期ショートステイから入所への移行も多くあった。空床のタイミングとショートステイの申し込みと受け入れのタイミングが合わなかったり、受け入れ先でのコロナ発症で受け入れが遅延するなどの影響やコロナ感染を案じたキャンセル等もあり、今年度の稼働率は82.2%となった。又、申し込みがあり実態調査に行くが、医療面や身体面などで利用に繋がらないケースも数件あった。コロナ禍の実態調査で面談する時間が短時間という縛りもあり、内外部居宅介護支援事業所やソーシャルワーカー等とさらに連携し、事前に情報はよりアセスメントを図り、受け入れの判断を適切に行なう事も大切だと感じた。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（従来型）

【3】重点目標：介護力の向上を目指し、統一したケアの実施

新型コロナウイルス感染症をはじめ、感染症に対して演習や講義を通して知識、技術の向上ができた。介護での基本的な対応は継続できないことが多々みられていたためしっかりと情報を共有し、日々変化するケアに対し柔軟に対応できるように努めていく。

〔計画内容〕

(1) 職員の知識・技術の向上

感染症に対してはガウンテクニック、ゾーニングを通じた知識・技術の向上だけでなく、感染予防の意識付けも日常業務の中で現場職員が互いに啓発しあいできていた。介護力に関して介護・看護が連携を図った。又、ケア会議の際に情報を共有し、少しずつだが向上した。

(2) 入居者の情報を把握し、多職種間で共有を行なう。

入居者の状況の変化に対し介護と看護が連携し対応した。コロナ禍ということもあり、家族とのコミュニケーションが図りにくく情報収集が出来にくかった。

(3) 報告・連絡・相談の体制の強化

申し送りノートなど作成し情報の共有を図っていたが会議実施日と報告書ノートにタイムラグがあり、報告がうまく伝わらないことが度々みられていた。今後は申し送り表だけではなく、職員間でこまめにコミュニケーションをとり、職員1人1人の考え方や思いをくみ取り今後に繋げていけるようにしたい。

2. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	0	1
75～79	男	0	0	0	1	1	0	0	2
	女	0	0	0	1	0	1	0	2
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4	2	0	0	1	0	8
85～89	男	0	4	3	1	1	0	0	9
	女	2	0	2	3	0	1	0	8
90～94	男	0	2	0	0	0	1	0	3
	女	2	2	4	1	0	0	0	9
95～	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	5	0	0	0	0	0	5
計		6	17	11	7	3	5	1	50

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和 3 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	14	30	6	8	10	32	6	16	28	7	14	29
前年度	35	9	5	11	25	14	0	35	15	5	30	15
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	5	24	21	12	22	16	10	2	11	9	18	
前年度	20	14	16	11	27	12	9	3	6	14	18	

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	161	195	169	171	200	205	207	181	188	215	280	262	2,434
処置	250	174	287	288	274	176	140	185	222	205	279	321	2,801
軟膏・湿布	301	305	389	478	251	314	403	447	576	486	471	368	4,789
テープ	42	74	77	92	63	65	60	65	60	64	56	62	780
救急対応	0	2	0	3	1	1	2	1	1	0	2	0	13
看取り	1	0	2	1	0	3	2	0	0	2	0	0	11

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	6	51	7	63	14	0		498
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来		
延人数(名)	3	2	280	3	9	6		
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科	精神科	神経内科	口腔外科		
延人数(名)	7	18	1	3	9	0		
受診科名	婦人科	腎臓内科	循環器内科	代謝内科				
延人数(名)	1	3	9	3				

(5) 入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	121	103	124	94	133	125	121	146	118	112	117	96	1,410
一般浴	309	271	284	266	298	299	284	320	304	308	273	258	3,474
合 計	430	374	408	360	431	424	405	466	422	420	390	354	4,884

②短期入所生活介護 (予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	87	88	51	55	68	60	56	64	59	55	60	66	769

《考察》

一般浴においては1日平均20名の入浴の為、ゆっくり落ち着いて入浴してもらうことが出来ないと感じる。忙しくしている中、事故がないように対応する人数を決めている。入浴日を増やし1日平均を減らしゆっくり入浴してもらえるように検討する必要があると感じる。又、四肢冷感、浮腫の方が増えている為入浴以外にも足浴や日光浴など来年度回数を増やして行きたい。

3. 給食

(1) 令和3年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,528	53.0	50.9	632	6.3	0.99	1.09	100	6.8
4月	1,657	64.3	41.2	625	11.5	0.84	1.10	126	7.9
5月	1,673	63.6	38.3	608	10.9	0.85	1.05	117	8.0
6月	1,656	62.8	38.1	608	10.8	0.81	1.05	96	7.7
7月	1,659	62.8	39.3	588	10.6	0.83	1.04	94	7.8
8月	1,675	63.5	39.3	610	11.0	0.84	1.05	104	7.8
9月	1,663	63.0	37.8	591	10.5	0.83	1.01	98	7.8
10月	1,683	62.6	39.2	602	10.7	0.87	1.02	86	7.7
11月	1,605	63.8	40.7	578	10.0	0.87	0.98	76	7.8
12月	1,633	64.8	41.8	570	9.5	0.85	1.00	73	7.9
1月	1,619	64.5	40.1	556	10.0	0.83	0.96	74	7.6
2月	1,626	63.9	42.3	571	9.6	0.84	0.94	75	7.9
3月	1,611	64.7	40.1	573	9.9	0.79	0.98	70	7.6

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,566	17,470	17,520	52,556
ユニットとわ	7,197	7,140	7,195	21,532
ショートステイ	2,692	2,943	2,718	8,353
デイサービス	0	5,442	0	5,442
職員	365	2,180	365	2,910
来客	0	7	0	7
実習生	0	0	0	0
延人数(名)	27,820	35,182	27,798	90,800

②選択食

日時	A	B
4月26日	ミートローフ	白身魚のマヨネーズ焼き
5月22日	白身魚のトマトソースかけ	鶏肉のオニオンソースかけ
6月24日	白身魚のおろしあんかけ	和風ハンバーグ
7月23日	メバルの煮付け	チキンソテートマトソース
8月24日	牛すき煮	白身魚のおろし煮
9月29日	白身魚のマヨネーズ焼き	オープンオムレツ
10月25日	白身魚のフリッター	鶏肉のソテーきのこソース
11月27日	はんぺんフライ	ハンバーグおろしソース
12月23日	揚げ魚のみぞれ煮	カツ玉煮
1月21日	チキンのトマト煮	白身魚のホワイトソースかけ
2月22日	鶏肉の味噌マヨ焼き	エビフライ
3月28日	鮭フライオーロラソース	ハンバーグ

③行事食（従来型）

1	日 時	4月13日	行事名	4月イベント食
	五目御飯、うどんとなめこの清汁、春野菜の天ぷら盛り合わせ、ゆかり和え、フルーツ			
2	日 時	5月5日	行事名	5月イベント食
	ふき御飯、清汁、カツオのたたき、旬菜の炊き合わせ、フルーツ			
3	日 時	6月17日	行事名	6月イベント食
	枝豆としらすの御飯、清汁、ゆかり天、野菜の緑酢和え、フルーツ			
4	日 時	8月5日	行事名	納涼祭
	焼きそば、バーベキュー（焼き鳥、牛肉、野菜）、枝豆、胡瓜漬け、スイカ、ジュース他			
5	日 時	8月16日	行事名	8月イベント食
	散らし寿司、雷汁、水晶鶏と夏野菜の香味ソースかけ、トマトとオクラのおろし和え、フルーツ			
6	日 時	9月10日	行事名	9月イベント食
	栗赤飯、清汁、鶏の竜田揚げ、菊花のおろし和え、フルーツ			
7	日 時	9月19日	行事名	敬老会
	海鮮散らし寿司、清汁、野菜の天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し、みかん寒天			
8	日 時	10月16日	行事名	10月イベント食
	松茸御飯、根菜の胡麻味噌汁、鶏と秋野菜の天ぷら盛り合わせ、もみじ和え、フルーツ			
9	日 時	11月15日	行事名	11月イベント食
	鮭チラシ、きのこ汁、野菜と鶏団子の炊き合わせ、白和え、フルーツ			
10	日 時	12月19日	行事名	クリスマス会
	エビドリア、野菜スープ、鶏の照り焼き野菜添え、えびトマトリゾット、			
11	日 時	12月24日	行事名	12月イベント食
	エビピラフ、コンソメスープ、チキンステーキ、ポテトサラダ、フルーツ			
12	日 時	12月31日	行事名	年越しそば
	かけそば、天ぷら盛り合わせ、温泉卵、ゼリー			
13	日 時	1月1日	行事名	元旦
	彩チラシ寿司、清汁、炊き合わせ、おせち2種、フルーツ			
14	日 時	2月3日	行事名	2月イベント食
	チラシ寿司、けんちん汁、いわしのつくね焼、梅風味和え、フルーツ			
15	日 時	3月3日	行事名	3月イベント食
	にぎり寿司、けんちん汁、含め煮、ゼリー			

④甘味処

日 時	おやつ名	日 時	おやつ名
4月16日	ソフトクリーム	10月13日	たこ焼き
5月10日	マクドナルド（セレクト）	11月24日	たい焼き
6月17日	ゼリー	12月15日	焼きいも
7月21日	あんみつ	1月19日	おしるこ
7月28日	すいか割り	2月24日	メープルケーキ
8月18日	パフェ	3月30日	季節の和菓子（ねりきり）
9月22日	季節の和菓子（ねりきり）		

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス（開催回数 56 回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	7	31	62	8	47	10	40	5	18	34	13	10	285

(4) 会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修、土浦地区給食研究会研修、老施協栄養士研修

《考察》

今年度は昨年につき新型コロナウイルス感染症の影響もあり、納涼祭、敬老祝賀会、クリスマス会など家族参加の行事や外出行事もほとんどできなかつた為、職員で工夫した入居者が楽しめる食事の提供、甘味処などを行い楽しんで頂いた。

食事介助が必要な入居者や、施設での看取りを迎える方が増えた為、栄養状態の悪い入居者も多くなったことから、その都度看護職員、介護職員、栄養士で話し合いの場を持ち、食形態の変更を行った。また、嘱託医と相談し、エンシュア、栄養補助食品の提供をし、状態改善を図ることができた。最後まで口から食べることができ、食べる楽しみを持てるように取り組むことが出来た。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数（開催合計 入居 43 回 SS30 回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	10	6	16	14	15	14	6	15	12	9	10	11	138
SS(名)	4	3	3	3	2	7	3	3	2	5	2	4	41

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	1	3	0	0	3	0	8	1	3	2	2	0	23

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所検討委員会	蔓延防止措置などがあり開催できなかった月もあったが、市役所職員や民生委員の方と連携して必要な情報交換や利用の必要性の判断が行えた。
2	身体拘束廃止委員会	入居者1名につなぎ着用の身体拘束を実施している。月に1回の委員会にて廃止にむけて検討しており、現在は廃止に至っていないが引き続き他職種と連携し適切な対応策を検討していく。
3	感染症対策委員会	コロナ禍でありガウンテクニックやゾーニング等の研修、演習を行い技術の向上に努めてきた。又、予防策を通して職員の意識付けにも繋がったと考える。手順表を作成し感染症が起こった場合に備えた対策も実施できた。今後も感染予防対策を継続し、勉強会等を通して知識・技術の向上に努めていく。
4	災害防火委員会	総合防災避難訓練を行うことができ職員間での防火意識を高められた。定期訓練での流れや役割分担も理解できる職員が増えた。訓練を通して実際の火災での避難経路が浸透されていない事が判明した為、今後はその点の周知・対策を進める。

5	介護力向上委員会	緊急時の対応等の勉強会を医務室協力のもと開催し向上に努めた。今後はより具体的に現場での課題点を抽出し知識・技術が向上していけるように働きかけていきたい。
6	寄添う看取り委員会	前年度同様に全体で検討する機会を作ることができなかった。しかし、介護・看護で情報を共有し入居者1人1人に対してはより良く対応が出来た。
7	褥瘡予防委員会	医務室と連携し発赤など早期発見に努めた。体位変換の方法など職員の知識、技術の向上が課題。
8	胃ろう・吸引対策委員会	胃ろう、吸引に関わることが薄く活動出来なかった。看護職員が不在でも対応出来るよう喀痰方法等を学んでいく機会を作っていきたい。
9	営繕委員会	委員会として意識統一が難しくその日出勤している職員が対応している状況で委員会としての活動が行えていなかった。今後は委員会内での役割分担を見直していく。
10	広報委員会	甘味処等のイベントが充実し、入居者の生活の様子を提供する機会が増えた。ホームページやインスタグラムにタイムリーな提供が出来ず、来年度は早い情報の伝達を心掛ける。
11	レクリエーション委員会	甘味処では内容の伝達が円滑ではなく、医務室との連携が取れていないことがあり当日になって内容を変更することがあった。又、掲示物もあまり作ることができなかった。日常のレクリエーションの時間を利用し入居者を巻き込んでいけるような工夫をしたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
4	2	お花見	3	3	0	6
7	28	すいか割り	50	12	0	62
8	5	納涼祭	60	28	0	88
9	19	敬老会	75	28	0	103
12	16	イルミネーションドライブ	7	3	0	10
12	19	クリスマス会	58	16	0	74
1	1	元旦式	75	15	0	90
1	8	初詣	4	3	0	7
1	14	イルミネーションドライブ	5	2	0	7
1	15	初詣	4	3	0	7
2	2	節分	48	15	0	63

《考察》

今年度も新型コロナウイルス感染症対策により家族や地域の方を招いて行事を行なうことができなかった。しかし敬老会等の大きな行事は感染症対策を行ない施設内のみで開催したり、入居者に希望を聞いて甘味処で提供する等を毎月1~2回定期的に実施し、施設内行事の充実化を図れた。来年度も施設内の行事の充実化を図りつつ、感染状況を把握し、家族や地域の方も参加できる方法がないか検討していく。

6. ユニット費

①従来型

月平均額	年間累計
¥9,209	¥110,513

- ・前年度同様に日用品の購入が多くなってしまった。
- ・野菜の苗を購入し入居者と一緒に収穫できた。
- ・もう少しレクリエーション等にも力を入れていけるようなユニット費の活用をしていきたい。

7. 研修

(1) 内部研修報告

①施設全体研修（従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務）19:00～19:30

月	日	内容（対象者）	参加人数
5	10	人事考課とモチベーション	33名
7	9	事故とヒヤリと報告書①	34名
9	10	事故とヒヤリと報告書②	31名
10	8	高齢者権利擁護って何？	40名
12	10	事業計画について、会計書類の見方	30名

②部署内研修

11	10	感染症について	20名
2	10	身体拘束勉強会	20名
3	10	看取りについて	25名

(2) 外部機関研修（オンライン研修は※とする。）

研修名	開催時期	研修内容	人数
介護報酬改定（栄養関連）※	4月9日	介護報酬改定（栄養関連）の概要	1
体位変換機について※	5月10日	体位変換機やクッションの概要	3
BCP※	7月7日	BCP策定について	3
安全対策担当者養成研修※	7月9日	介護事故予防の取組を推進するにあたって最低限必要な知識の習得	2
防火管理新規講習会	7月29,30日	防火管理者として必要な知識及び技能を習得する	1
オコール	8月20日	オコール代理業務について	1
科学的介護情報システムに関する研修会※	7月14日	ケアの質の向上に向けたLIFE活用の手引き	3
安全運転管理者講習	9月28日	安全運転管理について	1
看取りケア研修会	10月7日	老衰で穏やかな最期を迎えるには	2
レクリエーション基礎研修会	10月14日	施設で役立つレクリエーション体験等	1
看護実務者研修	10月19,26日	介護保険制度と看護職員の役割等	1
高齢者権利擁護推進研修※	11月18,24,26日 1月28日	介護保険制度の概要と権利擁護について等	1
安全対策担当者フォローアップ研修会※	11月18日	安全対策担当者研修のフォローアップ	2
BCP策定フォローアップ研修会※	12月1,8日	BCP策定研修のフォローアップ	3
ベビークレーム対応研修※	1月14日	家族からのベビークレームへの対応策	3
BCP作成セミナー※	1月24日	介護事業者のためのはじめてのBCP作成セミナー	3
科学的介護情報システムに関する研修会※	2月9日	ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム利活用の手引き	2
シテイング研修※	2月17日	シテイングの基本的な知識を身に付ける	2
高齢者権利擁護研修※	2月17日	介護保険制度の概要と権利擁護について	4
合計		19回	39

(3) 老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修

今年度も感染症対策の為、研究会が開催されなかった。来年度も開催又はオンライン研修などが実施された際は、出来るだけ多くの職員が参加出来るようにも知見を広げてもらう。参加できなかった職員に対しても情報共有を図り、全職員で新たな情報を得る事で刺激を受けより良い施設運営に繋げる。

《考察》

今年度は前年度より少しずつ増えていったオンラインでの研修が主体となった。そのため施設内で受講でき、業務内の時間を使って参加が可能になった為、前年度より多くの職員が参加することが出来た。又、研修で学んだ職員がワーカー会議の場を活用して伝達する事により業務に活かすことができたので参加の機会を増やしていきたい。

8. 実習生受入れ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受け入れは中止とした。

9. ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受け入れは中止とした。

10. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

《考察》

来年度は感染の動向を確認しつつ、集まるのが難しい中での地域貢献に繋がる活動を模索し実行していきたい。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園（とわ）

【4】重点目標：日々楽しみを持って明るく笑顔あふれる生活を提供する

業務中心となってしまう入居者1人1人との関わりをもつ時間をあまり作ることが出来なかった。来年度は業務を見直し、入居者に楽しんで頂けるようなイベントやレクリエーションを実施し日々、笑顔あふれる生活を提供したい。

〔計画内容〕

(1) 協力ユニット同士でイベントを企画し開催する

新型コロナウイルス感染予防対策により、密を避けるため各ユニットでのイベント開催となった。各々、入居者のリクエストを反映した食事や甘味処で、ユニットの個性を出すことが出来ていた。来年度は日々変化する感染対策を実施したうえで、両ユニットで交流できるイベントを企画していきたい。

(2) とわにわ作り

年間を通して、とわにわの作成を進めることが出来なかったが、ユニット中央の中庭で夏野菜や花を育て季節感や収穫の楽しみを提供する事が出来た。来年度はとわにわを活用して、季節を感じてもらえるよう草花や野菜を栽培していきたい。

(3) 24時間シート、介護過程に即した介護・支援の提供

毎月のユニット会議で入居者処遇等を検討し、職員間で情報共有とケアの統一を図った。しかし、入居者の入退所や状態の変化に着目した会議が中心となり、24Hシートの活用が出来ていなかった。来年度は研修や勉強会を通して知識の向上に努め、24Hシートの状態にあった見直しや、介護過程に基づいたケアを実施し、少しでも入居者のニーズに応えられるように介護の質を高めていきたい。

1. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況 ※30点満点中20点以下は認知症の可能性が高い（診断結果は参考）

年齢	性別	点 数							計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
75～79	男	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	1	0	0	0	0	1
80～84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
85～89	男	0	0	1	1	0	0	0	2
	女	1	0	0	0	0	1	1	3
90～94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	3	0	1	3	0	0	8
95～	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	1	0	0	0	2
計		3	5	4	3	3	1	1	20

(2) 日常生活状況 (ADL の状況) ※令和 3 年 3 月 31 日現在 ※単位は人

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3 年度	0	18	2	0	20	0	0	16	4	0	20	0
R2 年度	13	6	1	4	6	10	0	11	9	5	13	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3 年度	0	16	4	0	16	4	0	8	0	0	8	4
R2 年度	7	9	4	10	8	2	6	0	5	0	9	9

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	90	93	90	93	93	90	93	90	93	109	84	110	1,128
処置	73	47	77	32	45	37	18	43	21	21	36	31	481
軟膏・湿布	117	76	101	44	64	98	70	80	97	75	61	69	952
テープ	30	31	30	31	31	30	109	21	75	31	28	31	478
救急対応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
看取り	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計	
延人数	0	1	9	2	13	0		642
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来		
延人数	0	0	582	2	1	0		
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科	精神科	神経内科	口腔外科		
延人数	1	1	1	1	23	5		

(5) 入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	80	83	69	82	71	57	57	78	90	81	69	82	899
わかくさ	78	69	80	85	87	72	84	83	88	78	67	89	960
合 計	158	152	149	167	158	129	141	161	178	159	136	171	1,859

《考察》

ADL の低下に伴い、座位保持が困難になってきている入居者に対してストレッチャーを使用したり職員が 2 人対応して無理のない入浴方法を選択している。今後、より安心・安全に入浴が提供できるように設備の導入も検討していく。

2. 給食

(1) 食事提供状況

①行事食（ユニット・とわ）

1	日 時	7月7日	行事食	わかくさイベント食
	手打ちうどん、夏野菜の天ぷら、茶碗蒸し、フルーツ			
2	日 時	7月14日	行事食	むべイベント食
	牛丼、味噌汁、コロッケ、胡麻和え、漬物、フルーツ			
3	日 時	8月4日	行事食	納涼祭
	焼きそば、バーベキュー（焼き鳥、フランクフルト、牛肉）、漬物、枝豆、すいか、ジュース他、			
4	日 時	9月19日	行事食	敬老会
	海鮮散らし寿司、清汁、野菜の天ぷら盛り合わせ、茶碗蒸し、みかん寒天			
5	日 時	10月13日	行事食	ユニットイベント食
	御飯、豚汁、さんまの塩焼き、肉じゃが、さつま芋サラダ、胡瓜漬け、フルーツ			
6	日 時	11月10日	行事食	わかくさイベント食
	お好み焼き、ナムル、味噌汁、フルーツ			
7	日 時	1月26日	行事食	むべイベント食
	煮込みうどん、ツナサラダ、フルーツ			
8	日 時	2月16日	行事食	わかくさイベント食
	ほうとううどん、フルーツ（イチゴ）			
9	日 時	2月23日	行事食	むべイベント食
	御飯、肉団子と豆腐のお鍋、茶碗蒸し、フルーツ（いよかん）			
10	日 時	3月9日	行事食	わかくさイベント食
	混ぜご飯、焼き鳥、白身魚のマヨネーズ焼き、ひじきの煮物、煮豆、フルーツ			

②甘味処（ユニット・とわ）

日 時	おやつ名
4月16日	ソフトクリーム
12月19日	パンケーキ（わかくさ）パフェ（むべ）
12月22日	デコレーションケーキ
1月12日	フルーツパフェ
2月2日	ロールケーキ、イチゴ、生クリーム添え
3月9日	パンナコッタ、コーヒーゼリー（わかくさ）

(2) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス（開催回数 18回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	1	1	21	0	1	20	3	1	17	4	1	20	90

《考察》

体調の変化や嚥下機能の低下の為に、介助が必要な入居者に対して看護職員、介護職員、栄養士で検討し本人の嗜好や嚥下の状態に合わせた食事やおやつを提供を実施した。嘱託医、家族への相談を行い栄養補助食品の提供や食事介助を行って最後まで経口摂取出来るようにした。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数（開催合計 21回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	4	3	4	4	4	5	2	2	4	6	4	5	47

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	0	1	2	2	1	1	2	2	0	0	1	12

4. 委員会

(1) 委員会活動報告（以下はとわのみの委員会）

5	物品購入委員会（とわ）	各ユニットで使用頻度を調査し、月末の在庫を極力減らすことができた。来年度も定期的に見直し経費削減に努めたい。
15	運営推進委員会（とわ）	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、委員会として機能していなかった。来年度も感染状況によって地域の行事等開催されるか不透明だが、情報交換の機会とし、少しでも施設運営に繋がれるように委員会を機能させていく。
16	リハビリ委員会（とわ）	活動が少なかった。来年度はADLの維持向上に向けて1人1人の状態を看護職員、理学療法士と連携して把握に努め、リハビリを行っていききたい。
17	とわ菜園委員会（とわ）	今年度は数回程の実施となってしまった。来年度は入居者に植えたものを聞くなどして中庭も活用できるようにしていきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
8	4	納涼祭	20	14	0	34
9	19	敬老会	75	28	0	103
12	12	イルミネーションドライブ	13	8	0	21
12	19	クリスマス会	20	8	0	28
1	1	元旦式	75	15	0	90
2	2	節分	20	8	0	28

《考察》

新型コロナウイルス感染症対策の為、家族参加の行事を行うことができなかった。施設内行事ではイベント食を中心に実施。季節に応じた料理やリクエストを頂いたものを栄養士や看護職員と相談後に提供した。中庭等も活用して、作る過程も楽しんで頂けるように実施できたと感じる。

5. ユニット費

①わかくさ

月平均額	年間累計
¥11,727	¥140,735

- ・主に日用品や雑貨の購入が多かった。
- ・入居者と一緒に楽しめる物（花壇、菜園）やレクリエーション用品の使用を増やしていきたい。

②むべ

月平均額	年間累計
¥11,733	¥140,798

- ・主に日用品、雑貨の購入が多かった。
- ・ユニット費での購入に判断が迷う事が多かった。
- ・目で楽しめるような物（花壇、菜園）やレクリエーション用品、インテリアへの使用も増やしていきたい。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

1. 運営

今年度は職員と利用者との関わり合いの中でより多くのニーズの把握に努め、希望をより多く取り入れるよう努めた。職員間で利用者の残存機能を活かした対応の検討や実施をすることで、より長く健康で在宅生活を継続できるような対応を目指し、職員一人一人が利用者の在宅生活を支援できるように介護技術の向上のための取り組みを同時に行った。その結果処遇会議等の中での発言や日々の対応の中で利用者の立場に立った意見が少しずつ多く聞かれていく変化が見られた。

前年度に引き続き、介護支援専門員との連携を強化するために毎月 1 回の定期報告を継続し、状況変化があった際もタイムリーに報告をした。新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、電話、ファックスのやりとりがメインとなったが、実績提供表を直接持参出来た月に関しては、より密な情報交換が行えたため、コロナ情報を意識し、直接提供表を持参出来る月を多くとれるよう努める重要性を再確認できた。

2. 実績報告

(1) 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
運営日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310	
実人数(名)	47	49	45	47	43	45	46	46	47	44	46	46	551	
延人数(名)	484	486	485	485	444	461	456	469	476	412	450	496	5,604	
令和 2年度	平均利用者数(名)	17.5	18.0	18.9	16.8	16.2	17.0	19.6	20.7	19.0	19.1	18.7	17.6	18.3
	稼働率(%)	69.8	72.2	75.7	67.1	64.9	68.2	78.2	82.7	76.0	76.3	74.7	70.5	73.0
令和 3年度	平均利用者数(名)	18.6	18.7	18.7	18.0	17.1	17.7	17.5	18.0	18.3	17.2	18.8	18.4	18.1
	稼働率(%)	74.5	74.8	74.6	71.9	68.3	70.9	70.2	72.2	73.2	68.7	75.0	73.5	72.3
稼働率(%)														
前年度比	+4.7	+2.6	△1.1	+4.8	+3.4	+2.7	△8.0	△10.5	△2.8	△7.6	+0.3	+3.0	△0.7	

(2) 年間利用状況の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延利用者数(名)	6,140	5,928	5,499	4,874	5,180
稼働率(%)	79.6	77.6	71.2	62.8	66.8
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
延利用者数(名)	5,681	5,715	5,580	5,654	5,604
稼働率(%)	73.6	74.4	72.4	73.0	72.3

(3) 介護度別利用状況

前年度と比較して、支援の方の割合は減少、介護の方は増加継続しており、要介護3の利用者の割合が増えている。現在利用されている利用者の介護度が高くなったことで要介護3及び、支援から介護度1になる利用者増の増加構成比が変動したと考えられる。

要介護度	令和2年度		令和3年度		前年度比	
	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)
事業対象者	107	1.9	84	1.5	△23	△0.4
支1	209	3.7	4	0.1	△205	△3.6
支2	323	5.7	270	4.8	△53	△0.9
1	2,025	35.8	2,100	37.5	+75	+1.7
2	1,717	30.3	1,140	20.3	△577	△10
3	507	9.0	1,154	20.6	+647	+11.6
4	315	5.6	268	4.8	△47	△0.8
5	451	8.0	584	10.4	+133	+2.4
介護保険外	0	0.0	0	0	0	0
計	5,654	100	5,604	100	△50	0

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組み

利用者参加型のデイサービスの展開を継続し、洗濯たたみや食器洗浄等を行ってもらったり、レクリエーション、行事でのおやつ作りや風鈴作り、夏祭り際には楽しんで頂けるように踊りや職員が参加したレクリエーションに対して誰が高得点をとるかを予想して頂くなどを行った。それらの対応を円滑に行えるように部署内での検討を継続している。

(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

毎月、各ケアマネジャーに利用者の状況報告を行いつつ、状況の変化に応じプランを変更する等、居宅でのケアプランに沿った通所介護計画の作成に努めた。作成した通所介護計画の保管や、各ケアマネジャーにいち早く届ける方法に関して課題が残った為、これらを解決できるよう部署内にて検討し対応に努める。

(3) 入浴サービス（入浴者数・入浴率報告）

看護・介護職員間で連携を図り、来園時にバイタルサインチェックを通して利用者の状態観察を行い、その上で状態や希望に沿って入浴サービスの提供に努めた。入浴を予定されていても来園時に拒否される利用者や、新たに利用された方の中で入浴サービスを受けない利用者の割合が増えたことから入浴数に関しては前年度に比べ減少している結果となった。拒否される利用者に対し、心地よく、安全に入浴サービスを提供できるような対応を検討していく。個浴・リフト浴にて対応する利用者は年間通していなかった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数(名)	484	486	485	485	444	461	456	469	476	412	450	496	5,604	
入浴延人数(名)	379	383	374	377	342	353	344	349	380	369	350	348	4,348	
入浴率 (%)	令和2年度	74.4	76.5	80.5	81.9	79.1	80.4	82.4	79.7	76.9	80.6	76.3	76.9	78.8
	令和3年度	78.3	78.8	77.1	77.7	77.0	76.6	75.4	74.4	79.8	89.6	77.8	70.2	77.7
前年度比(%)	+3.9	+2.3	△3.4	△4.2	△2.1	△3.8	△7.0	△5.3	+2.9	+9.0	+1.5	△6.7	△1.1	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフト付き浴槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 食事サービス

利用者や家族、ケアマネジャーと情報共有し、利用者の状態や嗜好に合わせた食事提供を行った。テーブルにパーテーションを設置し感染予防にも努めた。体重の変化が見られた際には家族やケアマネジャー等と連携を図り検討しつつ対応に努めた。

(5) 排泄介助サービス (定時・随時)

利用者個々の状態に合わせた排泄介助を行った。頻繁に尿意を訴え介助を求める利用者に対してもその都度対応した。排泄動作が自立されているがトイレまでの歩行介助が必要な方もいた為、付き添い等を行い転倒事故防止にも努めた。また、家族と排泄状態を共有するため、送迎時や連絡帳での報告も行った。

(6) レクリエーション・行事

前年度にはコロナ対策として中止していた調理や、不特定多数で使用するボール等を使用するレクを再開。感染予防に努めながら慎重に行った。外出行事も花見・紅葉ドライブを実施し、少しでも気分転換を図れるよう降車し写真撮影も行った。

「夏祭り」「ゆく年くる年」「ありがとうの会」等は職員の出し物を中心に行うも利用者参加の意識の元、一緒にゲームを行い、飲食は控える形となった。また、手芸系のレクも利用者と共に風鈴や万華鏡、お雛様を作成、自宅に持ち帰って頂く等、多様性のある充実したレク内容になった。

【レクリエーション実施状況 (回数)】

飾り作り	28	ボーリング	21	ちょんちょんゲーム	16
言葉あそび	5	俳句	17	言葉の並び替え	18
ビンゴ	18	いつ、どこで、誰が?	17	大人の学校	20
漢字の足し算	9	漢字当てゲーム	18	替え歌	3
絵心クイズ	24	漢字の足し算	9	言葉の並び替え	18
歌詞穴埋めクイズ	13	的あてゲーム	12	ストラックアウト	9
書初め	1	連想ゲーム	1	足綱引き	1
お楽しみレク	1	二文字入れクイズ	15	計 23 種類	294

【行事実施状況（日数）】

紅葉ドライブ	1	万華鏡作り	4	おやつ(クレープ)作り	2
おやつ(チヂミ)作り	1	柏餅づくり	2	お雛様作り	6
初詣ドライブ	7	敬老週間	4	ありがとうの会	5
餅つき	1	出前食	1	夏祭り	2
ゆく年くる年	1			計 13 種類	37

(7) 個別機能訓練（介護）・運動器機能向上（第一号通所事業）サービス

ADL を元に A・B・C のグループ分けを行い、A→階段昇降や踏み台昇降、B→かかと・つま先上げや足じゃんけん、C→屈伸、体ねじり等、各グループに沿ったプログラムを作成し実施した。午前にはラジオ体操、午後は機能訓練の後に集団体操、カラオケの時間には時折音楽体操を行った。今年度は外出行事も行うことができ、車から降りて土などを踏んで普段とは違った感触も味わえた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	332	314	329	325	282	300	261	298	288	294	199	338	3,560
運動器機能(名)	26	19	25	25	27	25	24	28	19	17	12	17	264
合計	358	333	354	350	309	325	285	326	307	311	211	355	3,824

(8) 送迎サービス

本人や家族の都合・要望に対応し、時間指定や持ち物・鍵の確認など出来る限りの細かいサービス提供に努めた。職員間で連絡状況や混雑状況を共有し、スムーズに送迎する方法などを話し合う機会もあった。コロナ感染対策として朝の乗車前には消毒と検温を行い、本人ではなく同居している家族の体調もうかがいながら車内換気を行い安全運転に努めた。一般車両との接触事故が1件あった。

【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	458 (10)	479 (8)	476 (9)	475 (10)	435 (9)	453 (8)	450 (8)	461 (8)	474 (2)	412 (0)	449 (1)	496 (0)	5,518 (73)
送り (減算)	481 (2)	485 (1)	480 (4)	481 (4)	443 (1)	459 (1)	456 (0)	466 (2)	473 (2)	411 (1)	447 (2)	491 (5)	5,573 (25)
延回数 (減算)	939 (12)	964 (9)	956 (13)	956 (14)	878 (10)	912 (9)	906 (8)	927 (10)	947 (4)	823 (1)	896 (3)	987 (5)	11,091 (98)

【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイエース	550	518	550	598	620	526	521	528	569	547	478	538	6,543
ステップワゴン	490	533	477	522	506	518	490	519	536	481	476	534	6,082
ヴォクシー	477	488	492	547	437	462	504	624	524	346	443	490	5,834
タント(デイ)	644	857	631	725	630	730	710	648	722	669	554	669	8,189
タント(居)	417	482	408	561	389	490	483	514	633	514	512	442	5,845
タント(特)	837	922	546	551	605	768	779	781	959	743	688	709	8,888
アルトバン	112	129	112	137	91	58	119	121	168	47	21	81	1,196
ハイゼット	323	303	348	357	218	321	350	349	342	344	407	303	3,965
合計	3,850	4,232	3,564	3,998	3,496	3,873	3,956	4,084	4,453	3,691	3,579	3,766	46,542

(9) 看護報告（処置集計報告）

毎日のバイタルチェックの他、送迎時に自宅での様子を聞き取り、利用者の状態の様子観察に努めた。月に1回の体重測定、食事量チェック、内服薬の介助や排泄介助等、多面的に利用者の状態把握を行い、相談員と協議し記録を行った。体調不良時には家族やケアマネジャーに連絡・報告を行い情報の共有をし、利用者の生活支援につながるよう連携を図った。利用者・家族の希望に沿い軟膏や湿布、点眼などの処置の他、爪切りも実施した。今年度は職員・利用者共に感染予防を強化し、手洗い・消毒・換気・利用時のマスク着用・ホール内消毒・環境整備に力を入れ実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
爪切り	8	8	10	6	11	7	4	0	3	3	2	10	72
軟膏塗布	109	106	102	154	146	161	177	182	179	177	205	217	1,915
点眼	19	19	18	17	14	14	11	13	13	12	16	26	192
内服薬	114	149	153	161	136	150	150	155	148	121	155	179	1,771
体重測定	48	50	45	52	46	50	50	49	52	42	49	50	583
湿布	13	41	48	41	50	51	37	46	32	23	21	24	427
ガーゼ	8	17	9	32	29	13	4	7	2	0	7	7	135
インシュリン	13	16	14	17	18	17	12	12	12	12	11	10	164
合計	332	406	399	480	450	463	445	464	441	390	466	523	5,259

(10) 事故・ヒヤリハット報告

今年度は、認知症のある利用者による暴力や男性利用者による暴言が目立った。その都度職員間で検討をし、認知症ケアに基づいた対応法を模索しつつ対応に努めた。転倒・ずり落ちは事故ではなく未然に防げたヒヤリハットが多く18件中15件がヒヤリハットとなった。その他の16件のうち職員の技術不足により8件見られ、指導・育成が来年度への課題となった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	2	8	1	3	1	0	0	2	1	0	0	0	18
内出血・傷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不潔行為	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
車両関係	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
内服薬	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
利用者の暴力・暴言	2	0	6	0	1	2	0	1	4	0	0	0	16
職員確認ミス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品物損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
救急車対応	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	1	2	2	3	1	0	0	0	0	5	2	0	16
合計	7	13	10	6	3	2	1	3	8	6	4	1	64

(11) 地域連携・貢献活動（介護予防教室等）

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防教室の開催は出来なかった。今後も影響は継続すると考えられる為、動向や法人指針を確認し施設間で連携を図り地域との関わり合いを検討していく。

(12) 実習生・ボランティア受入

実習生、及びボランティアの受け入れ体制を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、ボランティアや実習生の受け入れが無い状態が一年通して続いた。地域連携と共に今後の対応を検討していく。

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	令和2年度			令和3年度		
	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)
4月	65	0	2	51	1	3
5月	63	3	3	50	2	0
6月	63	0	2	49	3	6
7月	61	2	0	48	1	1
8月	63	2	6	48	1	0
9月	59	2	0	49	1	2
10月	62	5	6	48	1	1
11月	63	3	1	48	1	2
12月	63	2	8	47	2	2
1月	56	4	7	47	1	1
2月	54	2	5	49	3	0
3月	50	2	3	49	0	1
合計	722	27	43	583	17	19

(2) 介護度別利用者

	令和2年度 (令和3年3月31日現在)		令和3年度 (令和4年3月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)
要介護度						
事業対象	1	2.2	2	4.3	+1	+2.1
支1	1	2.2	0	0	△1	△2.2
支2	3	6.5	2	4.3	△1	△2.2
1	14	30.4	22	47.8	+8	+17.4
2	17	37.0	6	13.1	△11	△23.9
3	3	6.5	7	15.3	+4	+8.8
4	4	8.7	3	6.5	△1	△2.2
5	3	6.5	4	8.7	+1	+2.2
介護保険外	0	0.0	0	0	0	0
計	46	100	46	100	0	

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	令和2年度(名) (令和3年3月31日現在)		令和3年度(名) (令和4年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	1	0	+1	0
65～69	0	0	0	0	0	0
70～74	0	3	0	2	0	△1
75～79	1	3	1	4	0	+1
80～84	2	4	1	4	△1	0
85～89	8	12	4	8	△4	△4
90～	1	16	1	23	0	+7
男女別合計	12	38	8	41	△4	+3
男女比(%)	24.0	76.0	16.3	83.7	△7.7	+7.7
合計	50		49		△1	

(4) 町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和4年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
右靱	1	小松	5	天川	2
烏山	4	小松ヶ丘	2	富士崎	4
永国東	1	上高津	4	合計	49
下高津	2	中村南	1		
霞ヶ岡	6	西根南	1		
港町	1	大岩田	2		
国分町	3	大和町	2		
桜ヶ丘	1	滝田	1		
桜町	1	中	1		
小岩田	1	中高津	3		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	5
二中地区	0
三中地区	3
四中地区	27
五中地区	0
六中地区	14
都和中地区	0
新治中地区	0
市外	0
合計	49

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所運営体制

年度初めから令和4年2月まで、主任介護支援専門員1名、介護支援専門員3名の特定事業所Ⅱとして運営。3月から1名が資格の更新漏れにより事務員としての登録になったため、介護支援専門員の配置が2名の特定事業所Ⅲに変更となった。

特定事業所として、週1回会議の場で利用者の動向に関する情報共有を行うとともに、支援困難なケースの打開策について他ケアマネからの助言を求める検討の機会も随時持つようにした。

また、サービス事業所や利用者家族から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者や陽性者の報告が連日続いた時期もあった。訪問やサービス利用を介しての感染拡大を防止するために、適切な範囲での感染情報の収集と共有に努めつつ、業務を行った。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	102	107	108	104	106	107	110	101	99	99	97	96	1,236
市外	1	1	1	2	2	2	2	5	4	2	3	2	27
合計	103	108	109	106	108	109	112	106	103	101	100	98	1,263

<介護予防プラン（地域包括支援センター委託）>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うらら	13	13	14	14	14	15	15	15	15	13	14	15	170
かんだつ	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33

※月ごとの件数の変動は、主として新規・終結による利用者の入れ替わり、入退院による入れ替わりによる。そのほか、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として通所サービスなどの利用を月単位で控える利用者がいたことの影響もある。

<新規の傾向>

介護・予防合わせて年間の新規件数は46件で、相談経路別では、家族から13件、病院から10件、包括支援センターから8件、その他（本人、サービス事業所など）15件である。家族からの依頼では、これまでの利用者家族からの繋がりでの依頼が多い。

なお、包括支援センターからの依頼ケースは、認定が要支援から要介護に変わった際に居宅変更先として依頼される場合と、申請前から困難ケースとして包括が介入していて、認定に合わせて特定事業所として居宅依頼されてくる場合とがある。特定事業所としては後者のような困難ケースへの対応力向上が求められており、従来は受付時に記録上の区分はしてこなかったが、体制整備の一環として、新年度から区分けして記録する予定である。

< 終結の傾向 >

年間の終結件数は49件で、終結理由は永眠が21件、施設入所が19件、長期入院が8件、その他（居宅変更）が1件である。

近年の傾向として、比較的短期間で支援終了となるケースが多いが、令和3年度内に支援を開始して終了したケースは13件で、新規全体に対して1/4弱を占めている。短期間支援の内容としては、支援開始の時点で入所希望の場合のほか、末期癌での退院・帰宅の支援も年ごとに増えつつある。

< 医療と介護の連携について >

介護報酬改定の際に医療と介護の連携強化が進められており、入退院時における、医療機関との利用者情報共有の働きに対して連携加算の算定が認められている。令和3年度の年間での入退院の延べ実件数は、入院60件、退院41件で、それに対して連携加算の実績は、入院時24件、退院時29件である。

< 居宅サービス契約者介護度別延べ件数・前年度との比較 >

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R2年度	7	83	122	530	411	183	139	20	1,495
R3年度	0	118	86	544	354	165	120	80	1,467

3. 認定調査

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	4	6	4	5	5	8	4	1	3	8	2	1	51

認定更新時に新しい認定期間が2年間、3年間（場合により4年間も）となるケースが増えていること、また新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として、認定調査を経ずに従来の介護度を1年間継続する特例を利用するケースもあることから、年間での調査の実施件数は、令和2年度が78件だったのに対して令和3年度は51件と減っている。

4. 研修

地域ケア会議	
7月29日	新治地区ふれあい調整会議（於 新治公民館）
11月25日	同上
合同事例検討会	
11月10日	烏山診療所居宅介護支援事業所との合同事例検討会（於 飛羽ノ園）
その他	
4月12日	令和3年介護報酬改定説明会（Zoom）
6月12日	令和3年度一般社団法人茨城県介護支援専門員協会通常総会（Zoom） 特別講演「多職種で支える意思決定 ～ICTを用いた情報共有～」
6月17日	つちう Labo「在宅療養における看取り支援について」（於 土浦消防署）
10月25日	認定調査現任研修（Web研修） ・介護保険制度の理念と仕組みの再確認 ・認定調査の基本を確認しよう ・要介護認定適正化と調査員の役割 ・茨城県からの情報提供
11月2日	豊後荘病院 認知症患者医療センター 研修会（Zoom） 「当院における認知症治療病棟の作業療法」

R4年 1月24日	中部産業連盟 セミナー (Zoom) 介護事業者のための業務継続計画 (BCP) 作成セミナー (Zoom)
1月26日	地域包括支援センターうらら 介護支援専門員向け研修会 (Zoom) つくば国際大学医療保健学部 山本哲也氏 認知症の理解と対応 ～認知症の人を地域で支える～
2月18日	茨城県介護支援専門員協会 土浦・かすみがうら地区協会研修会 (Zoom) 「その存在は、見えていますか？」 ～ケアマネジャーが 8050 問題に向き合うために～
3月4日	地域包括支援センターかんだつ 研修会 (Zoom) 豊後荘病院・土浦市 認知症初期集中支援チーム 認知症患者への支援体制 ～それぞれの役割や取り組みへの理解～
3月25日	令和3年度介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業所説明会 (Zoom)

なお、新型コロナの影響で、土浦ケアマネジャー研究会は休会状態、法人内研修も休止となった。

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（四中地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	80	(2) 緊急通報	16	(3) 配食サービス	15

前年度の合計件数が 96 件であり 15 件の増加。台帳作成に関しては 9 件の増加で、新規作成は 20 件であった。また緊急通報システムは 3 件の増加。相談のみは 6 件あり、コロナ禍で家族の訪問が少なくなっている状況から希望が増えている。特別業務以外に今年度も「見守りキーホルダー更新者確認」の依頼があり、主に電話で対応を行った。

2. 相談

(方法×続柄集計)

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計	
業務時間	電話	100	43	31	76	30	5	35	0	320
	来所	3	1	0	0	0	0	4	0	8
	訪問	209	9	4	0	0	1	2	0	225
時間外	電話	7	0	2	0	0	0	0	0	9
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	7	1	0	0	0	0	0	0	8
合 計	326	54	37	76	30	6	41	0	570	

前年度の相談数合計 355 件と比較すると 215 件の増加。家族や行政関係からの相談が多かった。

コロナ禍で状況把握が難しい中、民生委員と連携を密に行うことで適切な支援をすることができた。

(相談区分×続柄集計)

	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1) 家族の支援	23	9	9	2	5	2	2	0	52
(2) 介護保険制度	63	12	7	14	10	2	5	0	113
(3) 福祉サービス	126	11	14	52	4	6	18	0	231
(4) 保健・医療	155	28	10	11	11	1	8	0	224
(5) 経済・住まい	16	0	3	9	2	0	1	0	31
(6) 地域の困りごと	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(7) その他	228	24	13	10	18	1	16	0	310
(8) 二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9) 虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10) ケアマネジャー支援	0	0	0	0	0	0	1	0	1
(11) 認知症関係	49	15	13	5	9	2	4	0	97
合 計	660	99	69	103	59	14	55	0	1,059

前年度と比較し全体的に増加傾向にあり、特に「(7) その他」「(11) 認知症関係」は大幅に増加がみられる。また 1 件に対して複数の相談や継続支援の必要なケースが増えている。家族や関係機関と連携を図り対応をした。

3. 会議出席回数等

件 名	件 数 (回)
(1) ふれあい調整会議	5
(2) スクラムネット	12
(3) その他 (在支連絡調整会議等)	10
合 計	27

今年度もコロナまん延防止のため定期的な開催とはならず、在支連絡調整会議については書面で情報共有となった時期もあった。また業務内容について協議する機会が設けられたことで、より業務がスムーズに対応できるようになった。

スクラムネットはオンラインの活用もあり定期的に行われた。

今年度は困難なケースだけでなく、関係機関ごとに情報提供を行うことで要支援者の発見、個別課題が抽出された。今後様々なケースから地域課題が抽出されると考えられ、社会資源の発見に努めていきたい。

4. 動向と考察

- ・今年度もコロナ感染拡大の影響から交流する機会が減り、閉じこもりがちになる高齢者がみられた。
- ・認知症状のある方や複数の課題があり、継続して支援をするケースが増えている。
- ・家族等の支援者のいない高齢者が増えており、今後の課題と考えられる。
- ・感染予防の為、相談は主に電話等で対応し、状況に応じて訪問する際はマスク着用とアルコール消毒を徹底した。

令和3年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一
施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315
TEL 029-829-3030
FAX 029-829-3031
URL <https://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

【1】運営（運営方針に対する報告）

1. 介護老人福祉施設

昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの生活の場の提供となった。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだこともあって、納涼祭、敬老会、クリスマス会など感染症対策をしながら入居者・職員のみで開催した。職員一丸となって入居者に楽しんでもらえるように企画し実施することができた。家族には、行事の様子をお伝えする為、写真付きのお便りの作成や、YouTubeにアップした行事動画を家族限定で配信した。その他外出イベント（散歩、お花見ドライブ）についても感染対策を講じながら実施することができた。今年2月には施設内で新型コロナウイルス感染症が発生。職員全員で感染を広げない対策を実施することで早期終息を迎えることができた。

○重点目標：記録・入浴に重点を置いた業務の見直し

記録、入浴委員会をそれぞれ開催し検討を行った。記録に関しては書式の統一化がされていない事や記録の視点に差が生じていた。それらの問題を解決すべく書式及び記録物について統一するよう取り組んだ。入浴ではユニット単位でリフト浴を積極的に取り入れて、特浴（寝台浴）を少なくする為の見直しを行った事で、入居者との時間を作り出せるようになりつつある。

○重点目標：ノーリフティングケアの推進

要介護度4以上で抱え上げる介助が増加傾向にあり介護負担が多くなっていた為、入居者・職員双方の負担の軽減を目的にノーリフティングケア推進に着手した年であったが、委員会レベルでの情報共有で各職員に浸透させるまでに至らなかった。要因として人員が手薄で業務に追われたり、知識不足から新しい事へのチャレンジに消極的になっていたことが考えられる。しかし、介護機器不足の課題やユニット内の浴室の性能不足など、課題抽出を行う事ができたので次年度に継続していきたい。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

昨年度と比べて稼働率が2%増加した。昨年度の反省を生かし、空床ベッドが出てから動くのではなく、日頃より家族への希望調査や、ケアマネジャーへのニーズ調査を行い、早めの調整ができるよう意識した。2月に施設内で新型コロナウイルス感染症が発生し、部分的に閉鎖を行ったことにより、他の事業所へ移動された利用者もあり、稼働率に大きく影響した。

3. 稼働率報告

種 別	ユニット		ショートステイ	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
年間ベッド数（最大）	25,550	25,550	3,650	3,650
延べ人数	25,420	25,439	2,943	3,018
稼働率（%）	99.5	99.6	80.6	82.7

【2】事業実績（主に数値的な報告）

1.入居者推移・実数

（1）入退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	1	1	1	1	1	1	2	0	3	1	1	2	15	16
退居	0	1	1	1	1	1	2	0	3	1	1	2	14	16

（2）入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅（小規模多機能含む）	8	永眠（施設内）	13
病院	5	永眠（搬送先）	2
老健	2	居宅	1
特養	0	特養	0
合計	15	合計	14
前年度計	16	前年度計	16

（3）要介護度別 ※令和3年3月31日現在

要介護度	性別		人数計（名）	前年度人数（名）	前年度比
	男性	女性			
1	0	0	0	0	±0
2	2	4	6	9	△3
3	5	19	24	26	△2
4	5	22	27	18	+9
5	2	12	14	17	△3
合計	14	57	71	70	+1
平均要介護度	3.5	3.7	3.7	3.6	+0.1

（4）年齢構成 ※令和3年3月31日現在

年齢（歳）		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
特養（名）	男性	0	2	0	2	3	2	2	11
	女性	0	0	2	0	13	23	12	50
合計		0	2	2	2	16	25	14	61
前年度		0	2	0	4	9	18	37	70

(5) 入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数	0	9	26	19	16	70
	延人数	0	270	779	570	780	2,399
5	実人数	0	9	25	21	16	71
	延人数	0	279	775	622	484	2,160
6	実人数	0	9	25	21	16	71
	延人数	0	270	750	629	445	2,094
7	実人数	0	9	24	21	17	71
	延人数	0	279	744	623	524	2,170
8	実人数	0	9	23	22	17	71
	延人数	0	265	713	665	520	2,163
9	実人数	0	7	25	22	17	71
	延人数	0	210	713	660	503	2,086
10	実人数	0	7	23	22	17	69
	延人数	0	217	713	731	505	2,166
11	実人数	0	7	23	24	16	70
	延人数	0	210	690	717	480	2,097
12	実人数	0	7	24	24	18	73
	延人数	0	217	728	675	544	2,164
1	実人数	0	7	24	25	15	71
	延人数	0	217	738	750	465	2,170
2	実人数	0	7	24	25	15	71
	延人数	0	195	634	686	420	1,935
3	実人数	0	6	24	27	14	71
	延人数	0	186	744	771	434	2,135
R3年度	実人数	0	93	290	273	194	850
	延人数	0	2,815	8,721	8,099	6,104	25,739
R2年度	実人数	1	100	313	245	194	853
	延人数	30	2,974	9,262	7,305	5,849	25,420

《考察》

長期ショートステイ利用中の方から入所していただくなど工夫し、空床を極力抑えることができた。ワクチン接種が進んだことで、老人保健施設や病院からの受け入れもスムーズになった一年であった。面会についても県のまん延防止等重点措置や感染者数の推移に合わせて対面、窓越し、WEBなど適宜選択して面会をしていただき、入居者・家族の精神的安定につながったのではないかと考えている。

(6) 短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数	0	0	1	7	5	5	1	19
	延人数	0	0	5	65	90	50	12	222
5	実人数	0	0	1	5	5	6	1	18
	延人数	0	0	5	65	110	66	9	255
6	実人数	0	0	2	3	5	6	1	17
	延人数	0	0	6	46	104	83	30	269
7	実人数	0	0	1	5	5	6	1	18
	延人数	0	0	4	67	103	83	3	260
8	実人数	0	0	3	5	5	6	0	19
	延人数	0	0	14	68	116	74	0	272
9	実人数	0	0	2	5	6	5	0	18
	延人数	0	0	10	64	129	82	0	285
10	実人数	0	0	3	2	4	8	0	17
	延人数	0	0	17	21	93	129	0	260
11	実人数	0	0	4	5	4	6	0	19
	延人数	0	0	30	31	91	124	0	276
12	実人数	0	0	2	4	6	6	0	18
	延人数	0	0	16	26	105	125	0	272
1	実人数	0	0	0	3	6	5	0	14
	延人数	0	0	0	27	109	115	0	251
2	実人数	0	0	1	4	5	5	0	15
	延人数	0	0	2	22	75	74	0	173
3	実人数	0	0	1	5	3	4	0	13
	延人数	0	0	4	58	45	49	0	156
R3 年度	実人数	0	0	21	53	59	68	4	205
	延人数	0	0	113	560	1170	1054	54	2,951
R2 年度	実人数	0	0	8	77	65	32	7	189
	延人数	0	0	47	898	1,452	444	103	2,944

《考察》

長期ショートステイ枠と、週3日以上の定期利用の枠をバランスよく受け入れることで出入りを少なくし、体調管理とその把握に努めた。また送迎時の検温、家族内の体調不良者確認等の標準予防策を行う事で、ショートステイ内で新型コロナウイルス感染症が発生することなく運営できた。今後の課題として、現利用者が施設入居へ移行する事が多くなりつつ有るため、デイサービスやケアマネジャーと連携強化して、新規利用者を安定的に確保できるよう、サービス提供での特色を発信していく必要があると考える。

2. 医務

(1) MMSE 実施状況

※30点満点中23点以下は認知症の可能性が高いと言われている（診断結果は参考）

年齢(歳)	性別	点 数							合計
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	1	0	2
75～79	男	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	男	0	1	1	1	0	0	0	3
	女	1	0	1	0	2	2	1	7
85～89	男	1	0	0	1	1	0	0	3
	女	4	1	1	2	3	2	0	13
90～94	男	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	2	2	3	7	3	2	1	20
95～	男	1	1	0	0	0	0	0	2
	女	2	1	0	2	3	2	3	13
合計		14	6	6	14	14	9	5	68

(2) 日常生活状況（ADL の状況）※令和3年3月31日現在

①あじさい

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	5	1	1	1	4	2	2	3	2	4	1	2
R2年度	7	2	0	4	4	1	4	3	2	4	3	2
区分	移 乗			寝 返 り			移 動（歩 行）			移 動（車 い す）		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	3	0	4	5	0	2	2	1	0	0	1	3
R2年度	0	1	1	8	0	1	4	2	1	1	2	0

②りんどう

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	8	0	2	0	8	2	0	8	2	2	6	2
R2年度	6	3	1	2	4	4	0	6	4	5	1	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動（歩 行）			移 動（車 い す）		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	6	2	2	8	0	2	4	0	0	4	0	2
R2年度	2	1	4	6	0	4	2	0	0	3	1	4

③つつじ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	8	0	2	5	3	2	1	7	2	1	7	2
R2年度	7	1	2	1	3	6	0	2	8	0	6	4
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	5	3	2	6	2	2	2	1	0	4	0	3
R2年度	3	3	4	4	2	4	0	1	0	6	1	2

④カンナ

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	7	1	2	4	4	2	0	5	5	3	3	4
R2年度	7	2	1	5	2	3	3	4	3	5	2	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	6	2	2	6	1	3	4	1	0	2	2	1
R2年度	6	1	3	7	0	3	1	5	0	1	1	2

⑤ひまわり

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	10	0	0	5	2	3	0	7	3	4	3	3
R2年度	10	0	0	6	2	2	0	7	3	4	3	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	4	2	1	8	2	0	3	0	0	6	1	0
R2年度	2	2	1	8	2	0	4	1	0	4	0	0

⑥ばら

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	7	1	2	3	3	4	0	6	4	2	4	4
R2年度	5	3	2	2	2	6	0	5	5	1	4	5
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	3	3	4	4	2	4	2	1	0	1	1	5
R2年度	2	4	4	2	5	3	1	0	9	1	5	4

⑦すいせん

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	7	2	1	2	5	3	0	6	4	0	6	4
R2年度	7	1	1	1	7	2	0	3	6	0	3	6
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	1	5	4	5	3	2	0	0	0	0	4	6
R2年度	1	2	6	5	2	3	0	1	0	4	3	2

⑧コスモス

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	6	2	2	0	4	6	0	3	6	0	2	8
R2年度	7	1	2	0	5	5	0	7	3	0	7	3
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)			移 動 (車 い す)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R3年度	0	2	8	0	2	8	0	0	0	0	3	7
R2年度	0	3	7	3	2	5	1	0	0	3	2	5

(3) 処置・看護記録集計 (ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	20	271
処置	139	138	154	197	211	180	237	164	165	189	188	218	2,180
軟膏・湿布	33	33	34	35	36	37	38	39	39	42	43	44	453
テープ	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	8	7	114
救急対応	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	6
お看取り	0	1	1	1	1	1	1	0	3	1	1	1	12

(4) 他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	合 計
延人数	2	358	9	1	7	0	
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	
延人数	0	1	470	1	1	2	

(5) 入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	58	70	65	67	75	86	80	71	77	91	57	64	861
特浴	11	13	16	18	16	10	9	8	6	0	0	3	110
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	69	83	81	85	91	96	89	79	83	91	57	67	971

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	62	54	60	63	62	61	66	68	72	62	62	72	764
特浴	17	25	20	25	24	23	16	20	18	17	2	13	220
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14
合 計	79	79	80	88	86	84	82	88	90	79	78	85	998

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	70	69	69	78	75	71	69	72	70	67	27	68	805
特浴	12	15	11	9	5	6	8	2	10	18	2	15	113
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	7
合 計	82	84	80	87	80	77	77	74	80	88	33	83	925

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	62	63	56	63	63	63	61	58	68	65	40	69	731
特浴	27	25	25	24	24	22	26	27	23	18	4	18	263
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合 計	89	88	81	87	87	85	87	85	91	83	46	87	996

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	71	68	69	71	70	68	71	69	72	61	47	62	799
特浴	18	16	17	18	16	15	17	18	18	24	3	25	205
清拭	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	25	1	28
合 計	89	84	86	89	86	84	88	87	90	86	75	88	1,032

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	44	44	39	45	43	40	41	49	54	49	49	64	561
特浴	42	43	43	43	41	39	34	34	36	36	10	26	427
清拭	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	18	0	21
合 計	86	87	85	88	84	79	75	83	90	85	77	90	1,009

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	50	50	44	45	49	41	43	80	73	75	68	69	687
特浴	31	33	40	44	66	43	42	12	8	13	2	12	346
清拭	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	6
合 計	82	83	85	89	115	84	85	92	81	88	74	81	1,039

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	20	25	25	22	27	27	24	38	37	26	44	41	356
特浴	59	49	57	56	58	47	52	46	40	41	3	40	548
清拭	0	0	2	1	4	2	5	0	0	0	4	0	18
合 計	79	74	84	79	89	76	81	84	77	67	51	81	922

3. 給食

(1) 令和3年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,600	50.0	40.5	550	9.0	520	0.8	0.8	85	8.0
4月	1,587	57.8	40.3	603	7.6	545	0.75	0.74	77	8.2
5月	1,611	56.8	42.9	620	7.9	533	0.78	0.74	88	8.0
6月	1,622	56.6	42.9	625	7.9	539	0.79	0.76	81	7.9
7月	1,604	56.3	43.0	611	7.4	570	0.76	0.74	78	7.9
8月	1,610	57.4	43.0	586	7.7	514	0.75	0.74	83	7.9
9月	1,600	57.7	41.7	603	7.6	551	0.72	0.74	82	7.9
10月	1,610	56.3	43.0	620	7.4	563	0.76	0.74	81	7.9
11月	1,602	56.9	42.1	611	7.5	555	0.76	0.76	87	7.9
12月	1,616	56.9	43.7	606	6.9	526	0.76	0.74	82	8.0
1月	1,601	56.9	41.3	612	7.0	585	0.74	0.73	80	7.9
2月	1,544	57.2	42.0	620	7.2	608	0.74	0.72	78	12.4
3月	1,547	57.3	43.0	621	7.3	583	0.76	0.71	77	7.9

(2) 食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	25,286	25,423	25,566	76,275
ショートステイ	2,621	2,965	2,659	8,245
デイサービス	0	9,399	0	9,399
職員	0	4,944	0	4,944
来客	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0
延人数	27,907	42,731	28,225	98,863

②選択食

日時	A	B
8/30	鶏肉のピザ焼き	白身魚のピザ焼き

③行事食

1	日時	4月7日～9日	行事名	おやつバイキング
	桜ようかん、水まんじゅう、ケーキ2種、紫芋プリン、エビカツバーガー			
2	日時	4月22日	行事名	お花見弁当
	空豆ご飯、若竹汁、鱈の照り焼き、エビフライ、ホタテフライ、菜の花の白和え、春野菜の炊き合わせ、香物、フルーツ			
3	日時	4月27日	行事名	春を味わう
	釜揚げしらす丼、清汁、じゃが芋と新玉ねぎのミートグラタン、苺ババロア			
4	日時	5月5日	行事名	こどもの日
	鶏五目ちらし、清汁、天ぷら、黒ごまプリン おやつ：鯉のぼりパンケーキ			
5	日時	5月10日、11日、13日	行事名	新茶イベント
	新茶 おやつ：5/10→ようかん、5/11→どら焼き、5/13→栗饅頭			
6	日時	5月29日	行事名	井の日
	ビビンバ丼、わかめスープ、白菜のゆずドレッシング和え、オレンジムース			
7	日時	6月9日、10日、11日	行事名	アイスイベント

	アイスクリーム 2 種			
8	日 時	6 月 29 日	行事名	夏越の祓
	夏越ご飯、清汁、茄子の生姜醤油和え、甘夏ゼリー			
9	日 時	7 月 7 日	行事名	七夕
	七夕ちらし、清汁、天麩羅、オレンジ おやつ：七夕ゼリー			
10	日 時	7 月 9 日、20 日	行事名	冷やし麺
	そうめん、冷やし中華			
11	日 時	7 月 25 日	行事名	納涼祭
	焼きそば、鶏の唐揚げ、大判焼き、チョコバナナ、かき氷			
12	日 時	8 月 2 日	行事名	麺の日
	冷やし担々麺			
13	日 時	8 月 13 日	行事名	お盆
	赤飯、清汁、天麩羅、キャベツとツナの辛子マヨ和え、寒天ゼリー			
14	日 時	8 月 19 日	行事名	井の日
	挽肉と夏野菜のカレー風味丼、コンソメスープ、小松菜の和え物、バナナムース			
15	日 時	9 月 9 日	行事名	重陽の節句
	栗ご飯、清汁、赤魚の粕漬焼き（焼き茄子添え）、菊花のお浸し、梨			
16	日 時	9 月 12 日	行事名	敬老会
	赤飯、清汁、天麩羅盛り合わせ、鶏のゆず風味焼き、刺身（マグロ・サーモン）、炊き合わせ五色なます、マロンババロア おやつ：紅白饅頭			
17	日 時	9 月 21 日	行事名	十五夜
	月見とろろそば、肉団子の甘辛煮、インゲンの胡麻和え、フルーツ			
18	日 時	10 月 13 日、14 日、15 日	行事名	おやつバイキング
	ケーキ 2 種、南瓜プリン、栗ようかん、フィッシュバーガー、南瓜プリンタルト			
19	日 時	10 月 18 日	行事名	井の日
	豚肉の味噌金平丼、清汁、キャベツと玉ねぎのサラダ、フルーツ			
20	日 時	10 月 30 日	行事名	ハロウィン
	きのこピラフ、コンソメスープ、南瓜のシチュー、ブロッコリーとエビのミモザサラダ、ぶどうゼリー			
21	日 時	11 月 8 日、9 日、10 日	行事名	焼き芋イベント
	焼き芋			
22	日 時	11 月 18 日	行事名	井の日
	きのここと茄子の甘味噌丼、清汁、インゲンの胡麻和え、フルーツ			
23	日 時	11 月 23 日	行事名	秋の行楽弁当
	きのこご飯、清汁、カキフライ、エビフライ、牛肉と根菜の甘辛炒め、鮭の塩麩焼き、厚焼卵、漬物、柿			
24	日 時	12 月 6 日	行事名	井の日
	天津飯、中華スープ、ほうれん草ともやしのナムル、フルーツ			
25	日 時	12 月 12 日	行事名	特養クリスマス会
	トマトチーズリゾット、フライドチキン、海老とアボカドのカクテルサラダ、クリスマスババロア おやつ：クリスマスケーキ			
26	日 時	12 月 23 日	行事名	クリスマス
	チキンピラフ、コンソメスープ、エビフライ、ラタトゥイユ、フルーツポンチ おやつ：エクレア&ワッフル			
27	日 時	12 月 24 日	行事名	クリスマス
	サフランライス、コンソメスープ、ローストチキン、紫キャベツとエビのごまだれサラダ、フルーツヨーグルト おやつ：ミルクレープロール			

28	日 時	12月22日	行事名	冬至
	ご飯、みそ汁、マスの柚庵焼き、南瓜のいとこ煮、ピーチゼリー			
29	日 時	12月31日	行事名	年越しそば
	年越しそば、エビの天ぷら、キャベツの胡麻ドレサラダ、ぶどうムース			
30	日 時	1月1日	行事名	おせち料理
	赤飯、清汁、ぶりの照り焼き、伊達巻、黒豆、信田煮、みかん おやつ：紅白饅頭			
31	日 時	1月2日	行事名	お正月料理
	海鮮親子ちらし、みそ汁、筑前煮、抹茶ゼリーの黒蜜かけ			
32	日 時	1月4日	行事名	お正月料理
	稲荷寿司、清汁、天ぷら、小松菜ときのこの和え物、フルーツ			
32	日 時	1月7日	行事名	七草粥
	七草粥、みそ汁、厚焼卵、茄子の揚げ浸し、うずら豆			
32	日 時	1月19日	行事名	郷土料理
	油麩井、清汁、春雨サラダ、杏仁フルーツ			
32	日 時	2月3日	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鯛のゆず味噌煮、寒天ゼリー			
32	日 時	3月3日	行事名	ひな祭り
	鮭ちらし寿司、あさり汁、白身魚しんじょの野菜あんかけ、桃ムース おやつ：雛まんじゅう			
32	日 時	3月18日	行事名	大人のお子様ランチ
	オムライス、コンソメスープ、ハンバーグ、エビフライ、スパゲティサラダ、プリンアラモード			

(3) 栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	21	19	25	20	19	24	20	18	24	20	19	32	261

《考察》

令和3年度はワイズマンの栄養ケアマネジメント支援システムを導入した。更新管理等で効率化でき、施設内ラウンド回数が増え、栄養マネジメントの点で入居者個々の細かな現状把握が可能となった。また、直接食事介助に携わることで、嚥下状態の観察や、他職種への提案・相談を行うことができた。

行事食の回数を増やし、バラエティーに飛んだメニュー・季節を感じられるメニューを提供する事ができた。次年度も、楽しみを感じられるような食事の提供と、厨房委託業者との連携を密にとり、安心、安全、信頼のおけるサービス提供を行っていきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

①ケアカンファレンス実施人数（開催合計 146回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	13	8	18	13	6	12	15	9	19	13	6	14	146

②認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	3	4	3	3	3	4	2	2	0	5	0	29

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

①委員会

1	入所検討委員会	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、書面での開催や地域感染状況によって中止にするなどの対応で運営した。新規の入居申し込み者が減少しており、今後は入所検討の上で、要介護3以下、生活困窮者支援、広域での検討など、ニーズが多様化する事が予測される為、資料準備等で工夫が必要になると考える。
2	防災対策委員会	今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、密になる避難訓練や警察署立ち合いによる防犯訓練等は実施できなかった。その代わり設備等の点検、備蓄点検・補充を中心に活動を行った。またBCP（災害時の事業継続計画）に関してもアンケートを活用し内容見直しを行った。
3	身体拘束適正化委員会	定期開催・臨時開催を通し、身体拘束が必要な場合に適正な検討・実施ができるように話し合うことができた。また同意の書類が必要となる拘束だけでなく、スピーチロックを含む拘束への知識の啓発を行った。
4	感染予防委員会 (安全衛生委員会)	令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を中心に随時開催し対応した。感染症全般・食中毒の予防に努めた。2月の新型コロナウイルス感染症の施設内発生においては、「広げない対策」を講じる事で、1ユニット内のみで感染を抑えることができた。
5	職場定着委員会	感染対策の為、食事会等の飲コミュニケーションや、運動での職員交流の場が持てなかった。上記内容での開催は今後も困難と考えられる為、交流会だけでなく、その他の方法を検討し次年度に繋げていきたい。
6	給食委員会	委託業者の職員も交えて意見交換をすることができた。委員会で上がった問題点については迅速な対応ができたと思う。次年度も、より良い食事提供を目指し、関連職種で検討を行っていきたい。
7	褥瘡予防委員会	委員を中心に定期的に開催し多職種で連携することにより褥瘡の予防、対応を行ってきている。今後も多職種連携を意識して開催し褥瘡にならないように対応をしていきたいと考えている。
8	物品購入委員会	年度当初は、委員変更の影響で発注ミスがでる場面があった。発注方法の統一や、おむつ使用の分析など、部署内で統一し無駄を無くす在庫管理実践ができるようになってきている。
9	入浴委員会	入浴のあり方について委員会を中心に検討することで、活用できていなかったリフト浴に移行する事ができた。また特浴（寝台浴）向きでない方や、能力を活かした介助方法を探り必要に応じて、環境を選択できるよう働きかけを行った。
10	ノーリフティング委員会	定期的に委員会を開催し、ノーリフティングケアとは何か、どのように啓発していくかを検討していた。腰痛に関するアンケートも実施しどの介護場面に負荷がかかっているか、生の声を知る事が出来た。まだまだ啓発は上手くいっていないので来年度も続けていきたいと考えている。
11	記録委員会	ユニット毎に記録用紙が違っていることでユニット異動した職員が混乱する場面が多かった。少しでも異動した職員が入居者の対応がスムーズとなるように記録物については統一を図ることとなった。統一した書式を作ることはできているが、未完成であり意見を聞きながら皆が使いやすい書式を見つけていく。

(2) 全体行事報告

月	日	内 容	参加者			
			利用者	職員	その他	合計
7	25	納涼祭	79	33	0	112
9	12	敬老祝賀会	79	34	0	113
12	12	クリスマス会	79	33	0	112
1	3	正月式	78	23	0	101

(3) ユニット行事

①あじさい

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月26日	おやつ作り	あじさいユニット	7	4	0	11
5月9日	母の日	あじさいユニット	7	2	0	9
5月20日	誕生会	あじさいユニット	8	5	0	13
6月9日	訪問アイス	あじさいユニット	8	2	0	10
6月20日	父の日	あじさいユニット	10	2	0	12
6月22日	お外で、ジャガバター	あじさいユニット	7	5	0	12
7月7日	七夕	あじさいユニット	8	3	0	11
7月15日	スイカ割り	あじさいユニット	8	5	0	13
7月21日	流しそうめん	あじさい中庭	9	12	0	21
7月25日	納涼祭	施設内	10	4	0	14
8月14日	かき氷	あじさいユニット	10	4	0	14
8月19日	花火大会	あじさい南東側庭	18	4	0	22
9月28日	白玉ぜんざい	あじさいユニット	10	4	0	14
10月12日	誕生会	あじさいユニット	10	2	0	12
11月20日	誕生会	あじさいユニット	7	3	0	10
11月24日	紅葉ドライブ	あじさいユニット	10	5	0	15
12月21日	ゆず湯	あじさいユニット	8	2	0	10
1月3日	正月式	あじさいユニット	12	5	0	17
1月9日	誕生会	あじさいユニット	10	2	0	12
2月25日	バレンタイン	あじさいユニット	10	2	0	12
3月15日	ジャガイモ植え	あじさい中庭	7	3	0	10

②りんどう

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
6月11日	かき氷	りんどうユニット	10	3	0	13
7月23日	誕生日会	りんどうユニット	10	3	0	13
8月18日	誕生日会	りんどうユニット	10	3	0	13
8月19日	夕涼み会	ベランダ	10	5	0	15
9月23日	誕生会	りんどうユニット	10	2	0	12
10月15日	誕生日会	りんどうユニット	10	3	0	13
10月26日	園芸 (種・球根植え)	りんどうユニット	10	2	0	12
11月16日	出前食	りんどうユニット	8	2	0	10
12月12日	クリスマス会	地域交流スペース	10	3	0	13
1月16日	園芸 (ほうれん草収穫)	りんどうユニット	7	2	0	9
1月30日	甘味処 (和菓子)	りんどうユニット	10	3	0	13
3月24日	誕生日会	りんどうユニット	10	3	0	13

③つつじ

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
5月15日	お茶会	中庭	10	3	0	13
5月25日	出前食	つつじユニット	7	3	0	10
6月18日	出前食	つつじユニット	8	3	0	11
7月19日	手作りアイス	つつじユニット	10	3	0	13
7月29日	出前食	つつじユニット	8	3	0	11
8月29日	あんみつ	つつじユニット	10	2	0	12
9月12日	敬老会	地域交流スペース	10	4	0	14
9月26日	誕生会	つつじユニット	10	2	0	12
10月23日	誕生会	つつじユニット	10	2	0	12
11月18日	リクエスト食	つつじユニット	10	3	0	13
12月12日	クリスマス会	カンナユニット	10	3	0	13
12月19日	焼き芋	中庭	10	2	0	12
12月16~18日	ゆず風呂	入浴室	8	1	0	9
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	2	0	12
1月30日	おやつ作り	つつじユニット	10	1	0	11
2月2日	豆まき	つつじユニット	8	3	0	11
3月30日	おでんパーティー	つつじユニット	8	3	0	11

④カンナユニット

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月22日	出前食	カンナユニット	10	3	0	13
5月18日	母の日	カンナユニット	10	3	0	13
6月20日	誕生会・父の日	カンナユニット	10	3	0	13
7月4日	出張クレープ屋さん	カンナユニット	10	3	0	13
7月10日	手作りおやつ	カンナユニット	10	2	0	12
7月25日	納涼祭	カンナユニット	10	2	0	12
8月1日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
9月11日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
9月12日	敬老祝賀会	カンナユニット	10	2	0	12
10月24日	誕生会	カンナユニット	10	1	0	11
11月13日	誕生会	カンナユニット	10	2	0	12
12月12日	クリスマス会	カンナユニット	10	2	0	12
12月19日	焼き芋イベント	つつじユニット中庭	9	2	0	11
12月20日	ゆず湯①	カンナユニット	3	1	0	4
12月21日	ゆず湯②	カンナユニット	2	1	0	3
12月22日	ゆず湯③	カンナユニット	2	1	0	3
12月23日	りんご湯①	カンナユニット	3	2	0	5
12月25日	りんご湯②	カンナユニット	4	2	0	6
12月30日	手作りおやつ	カンナユニット	10	2	0	12
1月3日	正月式	地域交流スペース	10	1	0	11
1月9日	誕生会	カンナユニット	10	3	0	13
3月19日	誕生会	カンナユニット	10	1	0	11

⑤ひまわり

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月20日	出前食	ひまわりユニット	10	3	0	13
5月21日	誕生日会	ひまわりユニット	10	2	0	12
6月16日	誕生日会	ひまわりユニット	10	3	0	13
7月17日	おやつレク（たこ焼き作り）	ひまわりユニット	10	2	0	12
8月10日	スイカ割り	ひまわりユニット	10	3	0	13
9月11日	サツマイモ蒸かし	ひまわりユニット	10	3	0	13
10月9日	出前食	ひまわりユニット	10	4	0	14
11月15日	誕生会	ひまわりユニット	10	3	0	13
12月20日	柚子湯・柚子（ジャム）茶	ひまわりユニット	10	3	0	13
1月15日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0	12
2月6日	蒸かし芋会	ひまわりユニット	10	3	0	13
3月20日	誕生会	ひまわりユニット	10	2	0	12

⑥ばら

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月26日	誕生会	ばらユニット	10	2	0	12
5月23日	誕生日会と母の日会	ばらユニット	10	3	0	13
6月27日	父の日会	ばらユニット	10	3	0	13
7月20日	スイカ割り	ばらユニット	10	2	0	12
8月21日	誕生日会	ばらユニット	10	3	0	13
9月25日	出前食	ばらユニット	10	3	0	13
10月20日	誕生日会兼おやつ作り	ばらユニット	10	3	0	13
11月7日	紅葉ドライブ	ばらユニット	8	3	0	11
12月18日	焼き芋、DVD観賞会	ばらユニット	10	2	0	12

⑦すいせん

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月18日	ドライブ	AM 土浦市内	5	2	0	7
		PM 土浦総合運動公園	4	2	0	6
5月9日	節句を取り入れたゲーム	すいせんユニット	10	3	0	13
5月9日	母の日会	すいせんユニット	10	3	0	13
5月24日	出前食（桃園）	すいせんユニット	10	3	0	13
6月4日	誕生会	すいせんユニット	10	3	0	13
7月4日	クレープ（出前）	すいせんユニット	10	3	0	13
7月12日	クレープ作り	すいせんユニット	10	3	0	13
7月20日	スイカ割り	すいせんユニット	10	3	0	13
7月25日	納涼祭	2階談話コーナー	10	3	0	13
8月19日	鈴カステラ作り	すいせんユニット	10	2	0	12
9月12日	敬老祝賀会	1階フロア	10	3	0	13
9月18日	誕生会を兼ねた桃園出前食	すいせんユニット	10	3	0	13
10月13日	かねきで出前寿司	すいせんユニット	10	3	0	13
11月18日	お汁粉作り	すいせんユニット	10	3	0	13
12月19日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
1月20日	天麩羅うどん	すいせんユニット	10	3	0	13
2月14日	誕生会	すいせんユニット	10	2	0	12
3月20日	ホットケーキ作り	すいせんユニット	10	2	0	12

⑧コスモス

日付	行事名	場所	入居者数	職員数	家族数	計
4月25日	季節物のおやつ	コスモスユニット	10	2	0	12
5月25日	母の日	コスモスユニット	10	2	0	12
6月25日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
7月19日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
7月20日	スイカ割り	コスモスユニット	10	2	0	12
7月25日	納涼祭	談話コーナー	10	2	0	12
8月11日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12
9月12日	敬老祝賀会	1階フロア	8	2	0	10
9月21日	誕生会	コスモスユニット	10	3	0	13
10月31日	ハロウィンパーティー	コスモスユニット	10	2	0	12
11月12日	クリスマス会	コスモスユニット	10	3	0	13
12月30日	クリスマス会	コスモスユニット	10	3	0	13
1月15日	お汁粉作り	コスモスユニット	10	2	0	12
2月22日	誕生日会	コスモスユニット	10	2	0	12
3月27日	誕生会	コスモスユニット	10	2	0	12

(4) ユニット費

ユニット名	月平均額	年間累計	振り返り
あじさい	9,001	108,014	ユニット費の使用方法の見直しを行ってから、今までの消耗品や清掃用品といった物だけではなく、目に見えて利用者が変化に気づいて頂ける様にする事を心掛けた。コロナ渦で外出や外部との接触が極端に減ってしまった中でユニット内でのくつろぎや、今までと違う取り組みを行えた。
りんどう	9,286	111,436	入居者に潤いを感じて頂けるようにと考えて使用することが出来た。季節感を感じられる装飾品や日々使うおしぼりの質を良くするなど感じとりやすいものを中心に工夫した。また、消耗品は必要最低限にし、余暇活動に通じる物に使用できるように努力した。
つつじ	8,601	103,216	園芸などに力を入れ、ベランダが色とりどりになるよう、花を育てたり、入居者様で育てた野菜などを食べたりと入居者様が日常の楽しみが少しでも増やしていくことに工夫した。掃除用品や消耗品など購入。ユニット内の雰囲気は季節感あるにユニットにしていくよう工作物や飾り付けなど購入していった。
カンナ	8,673	104,076	季節を感じられるように飾りを購入し、四季折々の飾り付けをして閉塞感のないように努めた。また毎月誕生会を開催した際にお祝いの飾り付けをすることで、みんなでお祝いしていると感じられるようにした。その他、トイレから居室からの臭気が広がらないよう消臭剤を取り入れたり、入浴剤を購入し普段のお風呂を温泉気分となるようにしたり努めた。入浴拒否する方も入浴剤があると拒否なくなってくれていい効果が出ている。
ひまわり	7,319	87,828	季節毎の飾り付けや日々使う日用品などを購入し入居者様に季節を感じてもらったり、生活をしていくうえで不便のないようにしたりした。特に清潔保持に努め、ユニット内をきれいにし、清潔感のあるユニットを目指していった。
ばら	9,449	113,387	入居者が見て楽しめる植物や、季節を感じて頂けるような飾り付けなど行った。入浴剤を購入し色々な色や香りを楽しんでいただくことで気分転換に努めた。その他、収納ボックスなど購入し整理整頓に努めた。
すいせん	8,443	101,310	五感で満足度をあげる取組みを意識した。飾りを購入し季節感を演出し、また入浴剤を購入し温泉のような雰囲気や香りを楽しんでいただいた。ユニット内を清潔な環境に保てるように努めた。
コスモス	8,345	100,145	常時ユニット内、居室内が清潔に保てるようにし気持ちよく生活できるように努めた。フロア内が広いので、入居者が目に付くような大きな装飾を購入し工夫した。

6. 研修

(1) 内部研修報告（施設内勉強会）

実施日	内 容	参加人数（名）
4月1日	R3 事業計画について	36名
5月6日	人事考課について	47名
6月1日	ユニットケアについて	37名
9月13日	高齢者権利擁護①	41名
10月1日	感染症予防（ガウンテクニック）	39名
11月1日	高齢者権利擁護②	50名
12月1日	看取りケア	37名
1月4日	事業計画の作り方	42名
合計		329名

(2) 外部機関研修（オンライン研修は※とする。）

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数
安全対策担当養成研修※	6月22日	施設ケアマネ	安全対策担当者について	1
BCP策定研修※	7月7日	施設長,相談員,施設ケアマネ,管理栄養士	BCP策定について	4
LIFE研修※	7月14日	対象職員全員	LIFEの活用について	7
しごとホーター研修	7月27日	事務職員、施設ケアマネ	精神・発達障害について	2
甲種防火管理研修	7月30,31日	施設ケアマネ	火災や地震災害のについての対策	1
安全対策担当養成研修※	9月11,13,25日	介護リーダー	安全対策担当者について	1
認定調査員現任研修※	9月14日	施設ケアマネ	認定調査について現状確認等	1
床ずれ対策WEBセミナー※	9月17日	介護職員	ポジショニングなど	8
新型コロナウイルス感染対策 ～クラスターから学んだこと～※	9月26日	介護職員,看護職員,管理栄養士	クラスターから口腔ケアの重要性とコロナ対策	4
安全運転管理者講習会※	9月28日	施設長	安全運転及び運転管理について	1
看取りケア研修※	10月7日	介護職員,看護職員,管理栄養士	看取りケアについて	3
セキスイウェアの視察	11月1日	施設長,相談員,介護職員(主任他)	導入予定の介護浴槽の	6
安全担当者フォローアップ研修※	11月18日	施設長,相談員,介護リーダー	介護事故の実態とリスクマネジメントについて	3
臨床生死学研修※	11月25日	管理栄養士	臨床心理学について	1
高齢者権利擁護研修※	11月18～ 1月28日	介護リーダー	高齢者の権利擁護について学ぶのと職場実習	1
BCP策定フォローアップ研修※	12月1,8日	施設長,相談員,施設ケアマネ,管理栄養士	BCP策定の流れと手順の確認	4
ペパークリーム研修※	1月14日	相談員	ペパークリームとは何か	2
リスクマネジメント研修B※	2月9日	介護職員	リスクマネジメントについて	1
社会福祉士実習生指導員研修	2月17,24日	相談員	社会福祉士実習生指導について	1
心理アセスメント入門※	3月21日	施設長	心理アセスメント視点	1
合 計				53

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集合研修ではなくオンラインでの研修が多くみられた。中には感染対策をしっかりと行っている集合研修もあり、それにも参加している。

7. 実習生受入れ

(1) 学校別集計（デイサービスを含む）：受入れ実績なし

(2) 実習種類別集計（デイサービス含まず）：受入れ実績なし

8. ボランティアの受け入れ

受入れ実績なし

新型コロナウイルス感染症対策として外部の施設内立ち入りを制限したため、受入れ実績なしとなった。来年度はコロナワクチン接種状況や流行状況を踏まえつつ、受入れ再開を目指したい。

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

今年度は、4月～9月までの上半期平均利用者数 19.9 名と前年比 1.3 名増となった。下半期は、平均利用者数 19.2 名、前年比△1.7 名となった。一年を振り返り、利用者、家族の希望に沿った利用時間での受け入れや、新型コロナウイルス感染症により利用を控えていた方のサービス再開があった。2 月には新型コロナウイルス感染症が施設内で発生した影響で、デイサービスを 11 日間休業した事で稼働率に大きな影響を与えた。

一方、サービス提供では機能訓練に力を入れた一年となった。集団プログラムをはじめ、残存機能に合わせた小グループや個別ニーズに合わせたプログラムなど、生活期の作業療法を中心に行った。

利用者・家族とのコミュニケーションを大切にする事で、個々の思いや生活課題を抽出する事ができ、年度の事業目標をかたちにできた一年となった。

2. 実績報告

(1) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数 (日)		26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310
実人数 (名)		59	60	58	57	56	57	52	52	55	56	51	53	666
延人数 (名)		522	539	526	523	508	517	519	506	544	468	292	489	5,953
令和 2年度	平均利用者数 (名)	17.9	18.4	18.7	19.1	18.5	19.0	20.3	20.5	20.3	21.0	21.9	21.3	19.7
	稼働率 (%)	59.7	61.3	62.4	63.8	61.8	63.3	67.8	68.4	67.8	70.0	73.1	70.9	65.9
令和 3年度	平均利用者数 (名)	20.1	20.7	20.2	19.4	19.5	19.9	20.0	19.5	21.0	19.5	12.2	18.1	19.6
	稼働率 (%)	66.9	69.1	67.4	64.6	65.1	66.3	66.5	64.9	69.9	65.0	40.6	60.4	65.3
稼働率 (%) 前年度比		+7.2	+7.8	+5.0	+0.8	+3.3	+3.0	△1.3	△3.5	+2.1	△5.0	△32.5	△10.5	△0.6

※2月に関しては、新型コロナウイルス感染症によって 11 日間休業となってしまった為、稼働率が下がってしまった。内 2 日間は、独居高齢者や特別な事情（同居家族はいるが、その同居家族が高齢者や障害者で介護が困難等）の方のみを受け入れた。

(2) 年間利用状況の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延利用者数 (名)	7,616	7,438	7,316	7,016	6,649
稼働率 (%)	85.3	81.0	78.7	75.2	71.5
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
延利用者数 (名)	7,112	6,669	6,265	6,119	5,953
稼働率 (%)	76.7	72.1	67.6	65.9	65.3

(3) 介護度別利用状況

要介護度	令和2年度		令和3年度		前年度比	
	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)	延人数(名)	構成比(%)
事業対象者	0	0	0	0	0	0
支1	71	1.2	0	0	△71	△1.2
支2	349	5.7	399	6.7	+50	+1
1	1,163	19.0	938	15.8	△225	△4.2
2	3,013	49.2	2,594	43.6	△419	△5.6
3	921	15.1	826	13.9	△95	△1.2
4	437	7.1	991	16.6	+554	+9.5
5	165	2.7	205	3.4	+40	+0.7
介護保険外	0	0.0	0	0	0	0
計	6,119	100	5,953	100	△166	△1

3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

利用者や家族、ケアマネジャー、多職種とサービス担当者会議にて居宅サービスに沿って検討し、ニーズや目標を立て、通所介護計画書を作成、利用者、家族の同意を得てサービスを提供できた。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者が在宅で生活を行っていく為に必要な支援内容を記載し、定期的な見直しを行った。また、利用者の状態変化があった際には随時見直しを行った。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

利用者1人1人の身体状況を把握し、安心安全を心掛けながら、その方にあった入浴サービスを提供することが出来た。また体調の変化や皮膚トラブルなど、看護職員と情報共有を図ることで早期発見に繋げることが出来た。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延人数(名)	522	539	526	523	508	517	519	506	544	468	292	489	5,953	
入浴延人数(名)	447	474	467	464	446	452	465	456	477	411	258	426	5,243	
入浴率(%)	令和2年度	91.4	91.4	91.1	90.7	90.9	89.7	88.2	89.7	90.0	90.1	91.4	90.1	90.4
	令和3年度	85.6	87.9	88.8	88.7	87.8	87.4	89.6	90.1	87.7	87.8	88.4	87.1	88.1
前年度比(%)	△5.8	△3.5	△2.3	△2.0	△3.1	△2.3	+1.4	+0.4	△2.3	△2.3	△3.0	△3.0	△2.3	

(4) 食事サービス

前年度よりも、行事食の回数を増やし、バラエティーに富んだ食事を提供することができた。また、嚥下機能が低下した方への対応を、関連職種で連携し、評価・検討することができた。来年度も、喫食率の増加を目指し、食事の質の向上に努める。また、嚥下機能を維持できるような取り組みを検討していきたい。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

作業療法士・看護職員と共に協力し合いながら、利用者のプライバシーを守り、一人ひとりのADLを把握・確認を徹底し、その人に合った介助サービスに努める事が出来た。利用者の体調や皮膚状態の確認を徹底し、家族・ケアマネジャーへの報告・連携に努めた。

(6) レクリエーション・行事

今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で行えなかった行事等もあったが、感染のリスク因子を排除しながら、代替えサービスを検討し実施に努めた。外出行事については、利用者・家族に外出先での感染対策をお知らせし、希望に併せて参加・不参加を募った。「外の空気を吸える、気分転換できた」と好評であった。

【レクリエーション実施状況（回数）】

紙コップけん玉	2	お手玉のせ	14	けん玉	4
しりとり	29	連想ゲーム	25	算数	6
漢字クイズ	23	都道府県クイズ	2	的当て	6
輪投げ	24	「あ」のつく言葉	16	「ら」のつく言葉	2
ビー玉のせ	7	物干しゲーム	11	「は」のつく言葉	2
新聞ちぎり	10	「か」のつく言葉	8	「ま」のつく言葉	2
魚釣り	26	伝言ゲーム	1	「き」のつく言葉	2
豆つかみ	6	TVクイズ	1		
マキマキ	18	黒ひげ	16		
ビー玉ストロー	17	積み重ねゲーム	2	計 27 種類	282

【行事実施状況（回数）】

桜ドライブ	7	気分転換ドライブ	7	クリスマス会	2
おやつ作り	1	敬老週間	7	餅つき	1
駄菓子パーティー	2	運動会	2	節分イベント	1
夏祭り	2	紅葉ドライブ	7		

(7) 個別機能訓練（介護）・運動機能向上（予防事業）サービス

作業療法士と連携し、利用者の希望や目標に合わせて心身機能の評価を3ヶ月毎に実施した。利用者の機能維持、向上に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練（名）	0	0	50	46	46	50	47	46	50	46	46	47	474
運動器機能（名）	0	0	4	5	2	5	4	4	4	3	2	4	37
合計	0	0	54	51	48	55	51	50	54	49	48	51	511

(8) 送迎サービス

利用者を安全に送迎できるよう、デイサービス送迎時に把握できた危険個所を中心に独自マップや、市のハザードマップの活用で情報共有に努め安心・安全の送迎を実施できた。運転し慣れない車両がある職員に関しては、相談員等が同乗しての事前の練習を行なった。大きな事故等なく年間安全な送迎を提供できた。【送迎状況】

回	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
迎え (減算)	508 (14)	527 (12)	504 (21)	506 (16)	496 (12)	505 (12)	507 (11)	496 (9)	534 (9)	461 (7)	286 (6)	481 (8)	5,811 (137)
送り (減算)	511 (11)	529 (10)	516 (10)	504 (17)	500 (8)	497 (20)	505 (14)	499 (7)	534 (10)	460 (8)	284 (8)	478 (11)	5,817 (134)
延回数 (減算)	1,019 (25)	1,056 (22)	1,020 (31)	1,010 (33)	996 (20)	1,002 (32)	1,012 (25)	995 (16)	1,068 (19)	921 (15)	570 (14)	959 (19)	11,628 (271)

【送迎車両走行距離】

km	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	644	932	851	913	937	965	845	1,008	518	472	501	595	9,181
ヴォクシー(4500)	694	715	658	673	740	744	731	916	652	802	451	697	8,473
ヴォクシー(5193)	492	193	809	866	869	851	779	853	828	869	396	749	8,554
シエンタ	856	847	737	809	598	692	702	743	824	721	469	718	8,716
ハイゼット	577	512	549	568	667	723	713	571	774	602	443	774	7,473
タント	1,003	1,250	1,269	1,235	1,045	984	1,077	1,001	1,015	1,067	748	1,231	12,925
合計	4,266	4,449	4,873	5,064	4,856	4,959	4,847	5,092	4,611	4,533	3,008	4,764	55,322

(9) 看護報告 (処置集計報告)

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、うがい、手洗い、換気の徹底等を介護職員と協力して行った。また、朝の送迎時の体温測定、手指消毒、体調確認を継続した。入浴時の皮膚の状態観察や、必要に応じて、軟膏塗布、湿布貼布、点眼等を施行し、利用者の健康管理に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内服薬	300	198	193	212	195	194	185	173	192	173	101	197	2,313
軟膏塗布	311	313	263	303	313	325	342	320	395	329	197	358	3,769
湿布	24	32	24	39	35	33	16	18	35	23	13	30	322
点眼	74	66	81	73	72	82	82	68	87	84	52	78	899
爪切り	57	47	48	54	49	41	49	55	32	50	27	47	556
体重測定	57	57	56	56	56	56	52	51	53	51	42	52	639
合計	823	713	665	737	720	731	726	685	794	710	432	762	8,498

(10) ヒヤリハット報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・ずり落ち	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	5
トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体調不良	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
徘徊	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
車の物損	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	1	1	7
内服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品・物損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
職員確認ミス	2	1	1	5	1	2	1	1	0	1	0	1	16
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入浴時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	4	1	1	8	4	2	1	3	2	2	3	2	33

(11) 地域連携・貢献活動 (介護予防教室等)

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(12) 実習生・ボランティア受入

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

4. 利用者状況

(1) 登録利用者

	令和2年度			令和3年度		
	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)	登録者数(名)	新規利用者(名)	利用終了者(名)
4月	66	2	1	64	1	1
5月	67	2	7	64	0	1
6月	60	0	4	63	0	1
7月	59	2	2	62	0	7
8月	59	3	4	55	2	1
9月	60	4	0	56	3	2
10月	61	3	2	57	1	0
11月	62	2	2	58	2	4
12月	62	1	1	56	4	2
1月	63	3	1	58	2	6
2月	64	1	1	54	0	0
3月	65	2	0	54	2	2
合計	748	25	25	701	17	27

(2) 介護度別利用者

要介護度	令和2年度 (令和4年3月31日現在)		令和3年度 (令和4年3月31日現在)		前年度比	
	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)	実人数(名)	構成比(%)
支1	1	1.6	0	0	△1	△1.6
支2	4	6.6	4	7.5	0	+0.9
1	12	19.7	10	18.9	△2	△0.8
2	25	41.0	22	41.5	△3	+0.5
3	10	16.4	9	17.0	△1	+0.6
4	7	11.5	6	11.3	△1	△0.2
5	2	3.2	2	3.8	0	+0.6
介護保険外	0	0.	0	0	0	0
計	61	100	53	100	△8	0

(3) 利用者年齢構成

年齢(歳)	令和2年度(名) (令和4年3月31日現在)		令和3年度(名) (令和4年3月31日現在)		前年度比(名)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～64	0	0	0	0	0	0
65～69	0	2	0	1	0	△1
70～74	0	1	2	0	2	△1
75～79	3	2	1	0	△2	△2
80～84	4	9	4	11	0	2
85～89	4	14	2	7	△2	△7
90～	2	22	4	24	2	2
男女別合計	13	50	13	43	0	△7
男女比(%)	20.6	79.4	23.2	76.8	0	△14
合計	63		56		△14	

(4) 町内別（市外含む）・中学校区別登録利用者（令和4年3月31日現在）

○町内別（市外含む）

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	9	大畑	5	中貫	3
本郷	1	東城寺	1	小山崎	3
板谷	1	並木	10	中央	0
高岡	4	常名	2	市外	1
田土部	1	神立東	1	合計	56
下坂田	2	永井	3		
栗野	1	真鍋	5		
大志戸	2	沢辺	1		

○中学校区別

地区	登録者数
一中地区	0
二中地区	5
三中地区	0
四中地区	0
五中地区	0
六中地区	0
都和中地区	17
新治中地区	33
市外	1
合計	56

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

介護支援専門員1名（兼務を含む）で運営実施。関連サービス事業者との連携を密に行い支援を行った。利用者の予後予測を行いながら、安心して在宅生活が送れるように一人一人に寄り添った支援活動に努めた。同法人の居宅介護支援事業所との連携、近隣の他居宅介護支援事業所との研修会等への参加を通じて地域の状況、地域課題の把握ができるように努めた。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	27	26	25	25	26	29	24	22	22	21	24	30	301
市外	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	8
県外	3	3	3	3	3	2	2	1	2	1	2	2	27
計	30	30	29	29	30	32	27	24	25	22	26	32	336

月平均28件。1名体制になり総件数が前年度に比べ減少となった。県外は住宅型有料老人ホームの入居者となっている。近隣からの直接担当依頼の問い合わせ、相談が多数を占めている。

<介護予防プラン（地域包括支援センター委託）>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	4	4	3	2	2	2	2	4	4	3	2	2	34
計	4	4	3	2	2	2	2	4	4	3	2	2	34

予防から要介護への変更による減少、また新規に予防の方の担当受け入れを行い、月平均2.8件となっている。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

介護度 年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和2年度	11	32	264	156	86	53	47	649
令和3年度	0	34	145	69	44	65	13	370

最も多いのが要介護1の利用者となっていることは昨年と変化なし。ケアマネ人員数の減少により前年度と比較し279件の減となっている。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	3	3	1	3	3	2	1	0	0	0	1	0	17

今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、家族や関係者から事前の聞き取り調査を行うなど、短時間でも適切な調査を実施出来るように配慮した。

4. 新型コロナウイルス感染症予防対策

今年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、前年度同様感染拡大の予防に努めた。緊急事態宣言下においては、日常的にも手洗いうがいの励行、消毒液の携帯、訪問時間の短縮など、感染予防の徹底を図った。利用者には感染防止の注意喚起を行いながら、過度な不安感を抱かないような声掛けを心掛けた。また利用サービス事業者の休業の際には、サービス調整を行い、休業中も安心して在宅生活ができるように支援した。

5. 研修

4月	令和3年介護報酬改定説明会（オンライン）
6月	在宅医療×土浦連携@つちう Labo
7月、12月	老施協 BCPについて（オンライン）
7月	他居宅介護支援事業所共同研修 事例検討会
	他居宅介護支援事業所共同研修 出前事業（オンライン）
10月～12月	主任介護支援専門員研修
10月	つちう Labo「情報共有ツールについて」（オンデマンド）
11月	他居宅介護支援事業所共同研修 事例検討会
12月	法人 会計研修
1月	包括うらら「地域包括ケア～認知症の人を地域で支える」
2月	ケアマネ協会 「その存在は見えていますか」（オンライン）
3月	令和4年介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業説明会（オンライン）
	包括かんだつ「認知症患者への支援体制」（オンライン）
	土浦市【認知症バリアフリーシティつちうら】の実現に向けたオンライン説明会

土浦市在宅介護支援センター憩いの里
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業（新治地区担当）

1. 特別業務

状 況	件 数	状 況	件 数	状 況	件 数
(1) 台帳作成	30	(2) 緊急通報	8	(3) 配食サービス	2

特別業務合計は今年度は40件と前年度より1件減少したが、台帳作成件数は昨年と同数であった。地域ケアコーディネーターや地域包括支援センターとの同行訪問、民生委員からの情報提供により、新規の台帳作成に繋がった。緊急通報システムは5件増加した。今年度は、本人自ら市役所に問い合わせるケースが多くみられた。一方、配食サービスに関しては、昨年度より6件減少し、2件のみであった。

2. 相談

（方法×続柄集計）

相談区分		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	60	28	9	41	45	23	8	0	214
	来所	2	0	0	0	1	0	4	0	7
	訪問	77	22	7	16	19	15	7	1	164
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	6
合 計		139	50	16	57	65	38	19	1	385

今年度の相談数合計は385件と前年度より87件増加した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、特に電話相談の件数が増加した。来所はほぼ変わらなかったが、訪問は増加に転じた。相談者については、本人からの相談件数が大きく増加し、また、市役所や包括についても増加した。今後も潜在化している地域課題の発掘に努め、地域として高齢者を支えられるよう、ランチ機能を担っていけるようにしたい。

（

相談区分×続柄集計）

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1) 家族の支援	125	58	9	17	54	34	12	0	309
(2) 介護保険制度	75	34	6	24	44	22	9	0	214
(3) 福祉サービス	62	17	5	39	11	7	7	0	148
(4) 保健・医療	11	4	2	0	8	6	1	0	32
(5) 経済・住まい	18	5	0	3	18	3	1	0	48
(6) 地域の困りごと	3	0	2	1	0	3	0	1	10
(7) その他	95	23	11	4	26	24	5	1	189
(8) 二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9) 虐待・権利擁護	1	1	0	1	6	0	0	0	10
(10) ケアマネ支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11) 認知症関係	1	3	1	0	3	0	0	0	8
合計	392	145	36	89	170	99	35	2	968

今年度は968件と昨年度より190件増加した。特に、本人、市役所、包括の相談件数が増加した。在支だけでは解決できない問題に対して、市役所、包括との連携に努め、本人の支援に取り組む事を意識した活動の結果が現れたと思う。一方で民生委員や社協からの相談件数が減少した。今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で会議の開催が少なく、民生委員との関わりが少なかった事も影響していると考えられるが、高齢者の身近な相談窓口としての機能を発揮できるよう、会議以外の場でも、在宅介護支援センターの会役割についての啓発活動を行い、地域住民への認知度を高めて行くことに繋げていきたい。

相談内容に関しては(1) 家族の支援、(2) 介護保険制度、(7) その他の項目に特に増加がみられた。(1)、(2) についての増加は、昨年よりも介護保険に関する相談、申請代行を多く承った事によるものと考えられる。また、(7) については、電話が繋がらない、難聴で会話が成立しない方等を直接見守り訪問する回数が多かった為と考えられる。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1) ふれあい調整会議	2
(2) スクラムネット	12
(3) その他	13
合計	27

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、定期的な開催とはならず、在支連絡調整会議は書面での情報共有が中心となった。民生委員児童委員定例会の開催も少なかった。スクラムネットに関しては、オンラインでも開催されるようになった為、例年通り実施された。会議が開催されない分、個々に連絡を取ることで、情報共有に努めた。

4. 動向と考察

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、地域交流の機会を持つことが出来なかった。しかし、訪問に関しては、当初は電話相談を主軸に考えていたが、難聴や顔が見えない事で会話が成立しない方、電話が繋がらない方も多く、感染対策を徹底したうえで、昨年度より見守り訪問を多く行った。その結果、地域として情報共有しておきたい課題の発掘にも繋がり、また、今年度は特に地域包括支援センターや市役所との連携強化に繋げる事が出来た。その他、今年度は前年度より、高齢者自ら市役所に問い合わせ、高齢福祉サービス(緊急通報システム等)を希望される方が多かった。判断能力があるうちに、今後の独居生活への不安に早期に対応できるように備えて置きたいと考える方も増加はしているように感じた。

来年度も感染対策を怠らずに訪問活動を行い、地域の高齢者の現状把握に努めるとともに、「在宅介護支援センター憩いの里」が身近な相談窓口として機能出来るよう、広報活動にも力を入れていきたい。

桜川保育園

【1】運営（運営方針に対する報告）

令和3年度も、事業計画の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」に沿って、試行錯誤を繰り返しながら保育園運営に努め、概ねそれぞれの方針、理念、目標どおりに推進することができた。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大が収束していないことにより、昨年同様、関係機関等との連携を図ることができなかった。

また、今年度も保護者から「公立保育所と同等の保育の継続」という要望に沿いながらも、保育の内容を継続しつつ少しずつ新しいことを取り込むための創意工夫をしながら保育業務等を遂行した。

中でも、昨年度から、外国人の英語指導職員を採用し、日常保育中に英語に触れる機会を設けたことは保護者に好評を得ている。

年度を通して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本来の保育活動ができずに苦慮した1年であったが、感染予防は持ち込まない事を徹底し体温チェック、手指の消毒、密を避けることに注意しながら、子どもたちには、保育園の中だけでもたくさん経験を積ませ、工夫を凝らしながらの様々な行事に参加させるなど、安心、安全を第一に考えたな保育園運営をすることができた。また、今年度は看護職員を採用したことで、保健だよりの発行や感染症に対する衛生管理の徹底、体調不良児発生時の適切な対応が可能となり、保護者にもより高い安心感を提供することができた。

【2】重点目標に対する成果

（1）子どもの日常生活を丁寧に見て情緒の安定を図り、基本的な生活習慣を体得させる

0歳児については、十分愛着関係を築くことができ、概ね目標が遂行できた。一方、1歳児については、担任の体調不良で欠勤が多くなった中で、対応する保育士がいろいろ変わることによって、落ち着きを持続できない子どももいたため、多少対応に苦慮した。

（2）子どもの主体性・自主性を尊重し、のびのびと行動させる中で個々の成長・発達を支援する 個々を大切にのびのびとした保育活動を遂行することができた。自主性については、自由遊びの際に自らが選択して遊べるよう玩具や教材の設置場所を変更するなど、部屋の環境を整えた。主体性については、各クラスにおける「朝の会」で、子どもたちが主体となって話し合える場を設けた。

（3）保護者と保育園が協力して子育ての協働を進める

保育時間も長くなり保護者の子育て支援には十分応えられた。また、写真を通して園での様子を配信することで、子どもたちの日常の細か部分に至るまで見ていただくことができ、保育園活動に対する理解にもつながった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策についても、保護者と情報を共有しながら、感染者を最小限（園児1名）に止め、休園することなく保育を進めることができた。

(4) 地域交流の場をつくり、親しみのある信頼される保育園を目指す

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より実施はできなかった。収束した際には、桜川保育園まつりをはじめ、地域施設との交流を積極的に実施していきたい。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 園児数 (単位：人)

月	ゆめ	はな	にじ	ほし	つき	そら	計
4月	9	16	18	20	17	10	90
5月	9	16	18	20	17	10	90
6月	9	16	18	20	17	10	90
7月	9	16	18	20	17	10	90
8月	9	16	18	20	17	10	90
9月	9	16	18	20	17	10	90
10月	9	16	18	20	17	11	91
11月	9	16	18	20	17	11	91
12月	9	16	18	20	17	11	91
1月	9	16	18	19	17	11	90
2月	11	16	18	19	17	11	92
3月	12	16	18	19	17	11	93

(2) 職員数 (単位：人)

月	常勤保育士	非常勤保育士	栄養士	看護師	管理員	調理師	調理補助員	事務員	その他常勤職員	その他非常勤職員	計
4月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
5月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
6月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	7	35
7月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	7	35
8月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
9月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
10月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
11月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	6	34
12月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	5	34
1月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	5	34
2月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	5	34
3月	15	5	1	1	1	1	2	1	1	5	34

(3) 職員構成 (単位:人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R 3. 4	R 4. 3	R 3. 4	R 4. 3	R 3. 4	R 4. 3
施設長	0	0	1	1	0	0
園長	0	0	0	0	1	1
主任保育士	0	0	1	1	0	0
副主任保育士	1	1	0	0	0	0
加配保育士	1	1	0	0	0	0
保育士 (クラスリーダー)	6	6	0	0	0	0
保育士	5	5	2	2	5	5
保育補助員	0	0	0	0	4	3
看護師	1	1	0	0	0	0
栄養士	1	1	0	0	0	0
調理師	1	1	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	2	2
管理員	1	1	0	0	0	0
事務員	0	0	0	0	1	1
計	17	17	4	4	13	12

(4) 延長保育 (単位:人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長 合計	1時間延長 合計
4月	30	4	10月	33	3	63	7
5月	22	2	11月	21	2	43	4
6月	27	6	12月	18	2	45	8
7月	20	4	1月	27	5	47	9
8月	23	4	2月	35	14	58	18
9月	30	5	3月	47	15	77	20
合 計						333	66

※合計については、延べ人数。

(5) 一時預かり保育 (単位:人)

月	4時間以下	4時間以上	月	4時間以下	4時間以上	4時間以下 合計	4時間以上 合計
4月	3	10	10月	1	0	4	10
5月	0	8	11月	7	7	7	15
6月	3	14	12月	5	11	8	25
7月	3	0	1月	3	11	6	11
8月	2	2	2月	1	1	3	3
9月	0	0	3月	2	17	2	17
合 計						30	81

※合計については、延べ人数。

(6) 保育内容

本園の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」、「重点目標」に沿って、年間、月間、週間計画及びデイリープログラム（日課）を作成し、職員会議やクラス会議等において、その経過観察を行うとともに必要に応じて補正、調整をしながら、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実践した。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援

親切で穏やかな日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助することができた。また、毎月「園だより」や「給食だより」を発行し、行事等の予定や活動の様子を伝えた。

(2) 保護者面談・保育参観

随時要望に応じて面談を実施する体制を整備し、子育ての悩みを共有、様々な提案をし、子育て支援ができるように取り組むことができた。

新型コロナウイルス感染症の影響で、保育参観は実施できなかったが、クラス懇談会を実施し、保護者に日々の保育活動について理解を得るとともに子どもの普段の様子を見ることで安心感を持ってもらうことができた。

(3) 外部機関との連携

発達支援や育児不安などにより専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助することができた。

(4) 地域支援活動

未就園児の異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体でよりよい子育て環境を創るよう活動し、また、小学校、高齢者施設等との交流を積極的に図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となった。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和3年5月24日、11月17日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和3年5月20日、11月25日（年2回実施）

(3) 職員健康診断 令和4年3月23日（年1回実施）

(4) 職員インフルエンザ予防接種

令和3年10月30日、11月16日（年1回実施）

(5) 調理員、調乳を行う保育士検便検査

令和3年4月9日、5月13日、6月10日、7月8日、8月5日

9月9日、10月7日、11月4日、12月2日、令和4年1月13日

2月3日、3月3日（年12回実施）

※令和3年10月から令和4年3月までは、ノロウイルス検査を6回実施

(6) 感染症拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、検査キットやパルスオキシメーターの購入。非接触型赤外線検温器や自動アルコール噴霧器（追加）、飛沫防止用サークルなどを設置。

(7) 園児身体測定 令和3年4月15日、5月13日、6月15日、7月12日、8月10日、9月7日、10月7日、11月10日、12月7日、令和4年1月11日、2月9日、3月11日（年12回実施）

4. 防災安全

月	行 事 予 定
4月	【避難訓練、不審者についての講話】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の合図を確認。 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。
5月	【地震】「保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難。 ・防災頭巾の有用性を教えるとともに着用方法等の確認。
6月	【水害】「梅雨時期の長雨により、桜川の水位上昇を想定」 ・保育士の指示で身支度を整えてホールに集合し、退園体制を確認。
7月	【火災】「近隣住宅からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難。
8月	【不審者侵入】 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。 ・サスマタの使用方法。
9月	【水害】「台風発生の多い時期、豪雨による桜川の氾濫を想定」 ・保育士の指示で身支度をし、退園体制を確認。 ・保護者との連絡体制と避難場所への移動手段の確認。
10月	【火災】「調理用油の過熱により、調理室からの火災を想定」 ・通報担当者が消防署に通報 ・保育士の誘導により第1避難所へ集合。状況によって第2避難所へ移動。
11月	【地震】「土曜日の保育中に震度3の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難。
12月	【火災】「乾燥時期に近隣住宅からの出火を想定」 ・保育士の誘導により第1避難所へ集合。状況によって第2避難所へ移動。
1月	【地震】「保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難。
2月	【地震】「保育中に大規模な地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ避難。 ・東日本大震災での教訓の確認。
3月	【火災】「近隣住宅からの出火を想定」 ・通報担当者が消防署に通報 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難後第2避難所への移動

※避難訓練（年12回）【通報訓練（年2回）と不審者対策（年1回）を同時に実施】

5. 給食

給食とおやつは、栄養士の献立に沿って調理士の手作りメニューとし、離乳食は一人ひとりに合わせて進めている。本年度は、0歳児の月齢が高かったため、11月には全員が完了食になった。

- (1) 1歳児、2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつの提供
- (2) 3歳児～5歳児 昼食、午後おやつ提供
- (3) 延長保育児 補食の提供
- (4) アレルギー児 対象者なし
- (5) 食育活動 栄養士が各クラスを巡回し、子どもたちと一緒に食事をする事で食事の様子を知り、食材の話や食べ方を指導

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	5日	入園式	・各クラスにおいて実施
		進級式	・各クラスにおいて実施
5月	26日	遠足	・霞ヶ浦総合公園（4・5歳児） ・近隣散歩（0・1・2歳児）
	31日	食育教室	【5歳児行事】 ・食育体験学習（株式会社カスミ）
6月	10日	保育参観（以上児）	・親子ふれ合い遊び・親子制作
	24日	お楽しみ会	・バルーンアート・輪投げ・的当てゲーム・魚釣り・くじ引き
7月		七夕	・七夕笹飾り
	1日	プール開き	・お清め
	21日	夕涼み会	【5歳児行事】 ・夕食のカレー材料の買い出し・野菜の皮むき・フルーチェ作り・肝試し・親子で花火
8月		プール遊び	
10月	16日	そら組スポーツフェス	【5歳児行事】 ・保護者見学
	20日	スポーツフェス 2021	・個人走・リレー・遊戯・大玉ころがし・玉入れ・巧技台 等
	27日	親子遠足	・アクアワールド茨城県大洗水族館 親子で参加
	28日	ハロウィン	・仮装
11月	16日	保育参観（はな組）	・親子ふれあい遊び
	18日	保育参観（にじ組）	・親子制作
	26日	お店屋さんごっこ	・アイス屋・映画館及び売店（ドーナツ、ジュース、ポップコーン）・ゲームセンター・さくら交通
	30日	消防署見学	・土浦消防署（4・5歳児）
12月	22日	クリスマス会	・サンタクロースと交流
1月	12日	餅つき	・5歳児が餅をつき、ならせ餅を作る
2月	3日	節分	・豆まき
	5日	生活発表会	・遊戯・劇・発表・歌・合奏・ピアノカ奏
3月	18日	お別れ会	・発表・プレゼント交換
	25日	卒園式	・卒園児、4歳児、卒園児の保護者2名までで参加 ・在園児による園庭で花道をつくり見送る。

7. 年間会議予定

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	4	2	6	3	2	3	4	3	4	3	4	3	41
クラス会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食育会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
保護者会	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
個人面談	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	

※保護者会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、役員会を1回のみ開催となり、総会での報告事項及び議決事項については書面表決とした。

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	第1回	第2回	第3回	受講者
障害児保育	10月14日	11月15日	1月14日	大塚 愛里 山田 友香理
幼児教育	8月16日～9月6日 (eラーニング) 9月6日 (zoom)			山本 こずえ
	10月13日	12月27日	1月21日	小田 美希子
保健衛生、安全対策	10月11日	10月12日	10月21日	野口 雅子
食育、アレルギー対応	7月22日	7月23日	7月30日	古木 雅代
保育者支援、子育て支援	2月7日～2月25日 (eラーニング) 2月25日 (zoom)			村田 智奈美
乳児保育	1月5日～1月28日 (eラーニング) 1月28日 (zoom)			村田 智亜紀
マネジメント	10月26日～11月12日 (eラーニング) 11月12日 (zoom)			長峰 幸子
保育実践	11月13日	12月24日	2月2日	酒井 真実

※保育実践研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

(2) 保育技術専門研修

テーマ	開催日	受講者
幼保小接続推進のための合同保育	8月6日	大塚 愛里
療育支援研修 (zoom)	10月23日	村田 智亜紀
	11月13日	村田 智奈美

(3) 祥風会研修

テーマ	開催日	受講者
新入職員研修	4月21日	小田 美希子 服部 真由

(4) 内部研修

テーマ	開催日	受講者
キャリアアップ研修報告	6月26日	正職員全員

(5) O J T (On The Job Training)

- ・ 随時開催

令和3年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

桜川保育園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 宇都野 和司

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号
TEL 029-821-8341
FAX 029-823-0390
URL <https://showfukai.com>
E-Mail sakuragawa@showfukai.com